# HP M3027MFP/M3035MFP、M4345MFP、 および M5025MFP/M5035MFP HP 内蔵 Web サーバ ユーザーズ ガイド

# HP 内蔵 Web サーバ

---

## ユーザーズ ガイド

## 著作権と保証



本書に含まれている情報は、断りなく変更する場合があります。

HP 製品およびサービスの唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証書に規定されています。 本書に記載されている内容は一切追加保証とはなりません。 HP は、本書に記載されている内容の誤りや記載漏れについて一切責任を負いません。

## 商標

Adobe® および PostScript® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Windows® および MS Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Edition 1, 5/2006

# 目次

# 表のリスト

# 図のリスト

# 1 概要

# 内蔵 Web サーバとは

Microsoft® Windows® などのオペレーティング システムがコンピュータ上でプログラムを実行するための環境を提供するのと同様に、Web サーバは Web プログラムを実行するための環境を提供します。 Microsoft Internet Explorer、Apple Safari、または Mozilla Firefox などの Web ブラウザは、Web サーバからの出力を表示できます。

*内蔵* Web サーバは、ネットワーク サーバ上にロードされるソフトウェアとしてではなく、ハードウェア製品 (プリンタなど) のファームウェアに存在します。

製品に Web サーバが内蔵されていると、ユーザーはネットワークに接続したコンピュータと標準的な Web ブラウザを使用して、製品のインタフェースを開き使用できるという利点があります。 特別なソフトウェアをインストールまたは設定する必要はありません。

HP 内蔵 Web サーバ (HP EWS) により、お使いのコンピュータで製品のステータス情報を表示したり、設定を変更したり、製品を管理することができます。

**注記** このガイドでは、「製品」および「デバイス」という用語は同じ意味で使用しています。 このガイドでの製品またはデバイスは、HP LaserJet プリンタ、多機能周辺機器 (MFP)、または HP Digital Sender を意味しています。 プリンタ、MFP、または Digital Sender がサポートしている機能については、製品に付属のマニュアルを参照してください。

## 機能

製品のコントロール パネルの代わりに HP EWS を使用して、コンピュータからプリンタとネットワークのステータスを確認したり、印刷機能を管理することができます。 HP EWS を使用して、次の操作を行うことができます。

- コントロール パネルのメッセージと製品のステータス情報を表示する
- すべてのサプライ品の寿命を確認したり、新しいサプライ品を注文する
- 製品のテクニカル サポート ページにアクセスする
- 最新の製品イベントの固有のサポートにアクセスする
- 最大 5 つのリンクを追加したり、他の Web サイトへのリンクをカスタマイズする
- トレイ設定など、製品の設定を表示および変更する
- ネットワークの設定を表示および変更する
- 設定ページなどの情報ページを表示および印刷する
- サプライ品が残り少なくなってきたときなどに製品イベントに関する警告を電子メール経由で受け取る 各ユーザー (管理者およびサービス) ごとに、警報先リストを最大 4 つ設定する（各リストには最大 20 名の受信者を設定できる)。
- HP EWS 画面を表示する言語を選択する
- 製品のプリンタ ドライバをインストールすることなく HP 製品に出力する
- 無操作状態が一定時間続いた場合に製品をスリープ モードにするためのスリープ遅延を設定し電力を節約する

- 製品を使用する時刻までに初期化と校正が完了するように、各曜日のウェイクアップ時刻をスケジュール設定する
- 製品の設定とサプライ品の使用状況に関する情報をサービス プロバイダに定期的に送信する

## HP Web Jetadmin と HP 内蔵 Web サーバ

HP Web Jetadmin は、Web ブラウザで使用できる Web ベースのシステム管理ツールです。 HP EWS と HP Web Jetadmin を組み合わせて使用することで、すべての製品管理のニーズに対応できます。 ソフトウェアを使用して、ネットワーク製品を効果的にインストールおよび管理できます。 ネットワーク管理者は、ネットワークに接続された製品を実質的にあらゆる場所からリモート管理できます。

HP EWS は、ご使用の製品数が少ない場合に製品を 1 つずつ管理するための、簡単で使いやすいソリューションを提供します。 複数の製品が存在する環境では、HP Web Jetadmin を使用して製品をグループとして管理することをお勧めします。 HP Web Jetadmin では、複数の製品を同時に検出、管理、および設定することができます。

HP Web Jetadmin は、HP オンライン サポートから利用することができます (HP Web Jetadmin www.hp.com/go/webjetadmin)。

## システム要件

HP EWS を使用するには、以下のコンポーネントが必要です。

- サポートされている Web ブラウザ。 以下のブラウザを含む、内蔵 Web サーバをサポートしているブラウザ。
  - Konqueror 3.0 以降
  - Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
  - Mozilla Firefox 1.0 (および Mozilla ベースのブラウザ)
  - Netscape Navigator 6.2 以降
  - Opera 7.0 以降
  - Safari 1.0 以降
- TCP/IP (transmission control protocol/Internet protocol) ベースのネットワーク接続。
- 製品にインストールされている HP Jetdirect プリント サーバ (内蔵または拡張 I/O (EIO)。

# HP 内蔵 Web サーバへのアクセス

以下の手順に従って、HP EWS にアクセスします。

**注記**　ファイアウォールの外側から HP EWS の画面を表示することはできません。

1. Web ブラウザを開きます（サポートされているブラウザ)。
2. **[アドレス]** または **[移動]** フィールドに、IPv4 または IPv6 TCP/IP アドレス、ホスト名、または製品に割り当てられている設定済みのホスト名を入力します。 以下の例を参照してください。
   - IPv4 TCP/IP アドレス: http://192.168.1.1
   - IPv6 TCP/IP アドレス: http://[2001:0ba0:0000:0000:0000:0000:0000:1234]
   - ホスト名: npiXXXX
   - 設定済みのホスト名: http://www.[サーバ名].com

製品の TCP/IP アドレスが不明な場合は、コントロール パネルのメニューを使用して、または設定ページを印刷して確認することができます。 手順については、製品に付属のユーザーズ ガイドを参照してください。

# ログインとログオフ

HP EWS には、製品情報を表示したり、設定オプションを変更する画面があります。 表示される画面と、画面に示される設定は、一般ユーザー、IT 管理者、またはサービス プロバイダのどのアカウントで HP EWS にアクセスしたかによって異なります。 これらのパスワードは、IT 管理者またはサービス プロバイダがカスタマイズできます。

パスワード保護されている HP EWS では、パスワードを使用せずにログインしたユーザーには、**[情報]** タブのみが表示されます。 パスワードが設定されていない場合 (デフォルト) は、すべてのタブが表示されます。

パスワードが設定されている場合、保護されている HP EWS タブ (**[設定]**、**[デジタル送信]**、**[ネットワーキング]**) にアクセスするためには IT 管理者またはサービス プロバイダとしてログオンする必要があります。

注記　IT 管理者がパスワードを変更する方法については、「セキュリティ」を参照してください。 サービス プロバイダがパスワードを変更する方法については、製品のサービス ガイドを参照してください。

## 管理者アカウントでログインするには

HP EWS に管理者アカウントでログインするには、以下の手順に従います。

1. EWS にアクセスし、画面の右上隅にある **[ログイン]** リンクをクリックします。

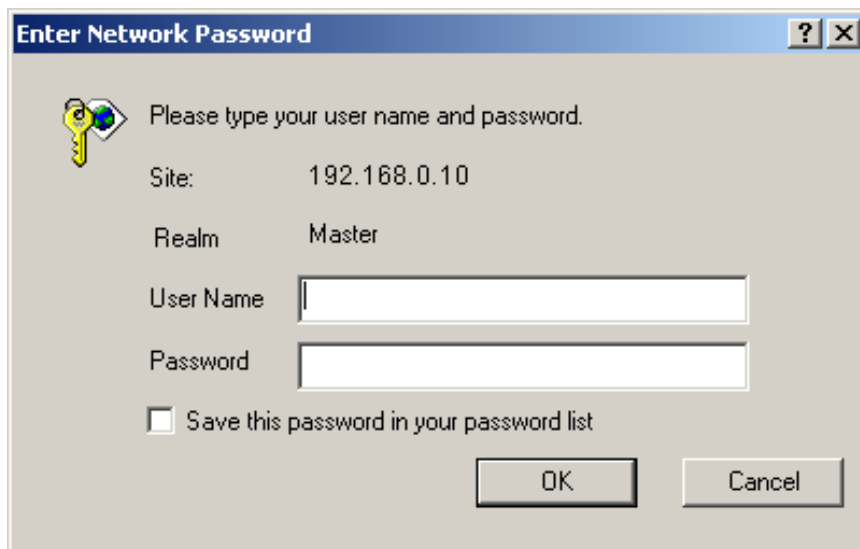
   以下の図のような **[ネットワーク パスワードの入力]** ダイアログ ボックスが表示されます。 ログイン画面の外観は、使用しているオペレーティング システムとブラウザによって異なります。

   
   

   図 1-1　**[ネットワーク パスワードの入力]** ダイアログ ボックス

2. ユーザー名に「admin」と入力し、パスワードを入力して **[OK]** をクリックします。

## 管理者アカウントでログオフするには

ログオフするには、以下の手順に従います。

1. **[ログオフ]** リンクをクリックします。

2. ログオフを完了するには、ブラウザを閉じます。

注意　ブラウザを閉じないと、製品の HP EWS へ接続されたままになり、セキュリティ リスクが生じる可能性があります。。

# HP 内蔵 Web サーバ内の移動

HP EWS の画面内を移動するには、いずれかのタブ (**[情報]** タブや **[設定]** タブなど) をクリックして、画面の左側にあるナビゲーション バーのいずれかのメニューをクリックします。

以下の図と表に、HP EWS の画面に関する情報を示します。

**注記** IT 管理者が設定した製品の機能と設定により、HP EWS の画面の外観がこのユーザーズ ガイドの図と異なる場合があります。

**図 1-2** HP EWS の画面の例

**表 1-1** HP 内蔵 Web サーバ

| 番号 | HP EWS の画面の機能 | 説明 | 詳細情報 |
|---|---|---|---|
| 1 | 製品名と TCP/IP アドレス | 製品名と IP アドレスが表示されます。 | |

表 1-1  HP 内蔵 Web サーバ (続き)

| 番号 | HP EWS の画面の機能 | 説明 | | 詳細情報 |
|---|---|---|---|---|
| 2 | タブ | **[情報]** タブ | 製品に関する情報が表示されます。 このタブの画面を使用して製品を設定することはできません。 | 「HP EWS の [情報] タブの画面での製品ステータスの表示」を参照。 |
| | | **[設定]** タブ | このタブの機能を使用して、製品を設定します。 | 「[設定] 画面からの製品の設定」を参照。 |
| | | **[デジタル送信]** タブ | このタブの機能を使用して、デジタル送信機能を設定します。<br>注記　デジタル送信ソフトウェア (HP DSS) をインストールした場合は、HP デジタル送信ソフトウェアの設定ユーティリティ を使用してデジタル送信オプションを設定する必要があります。 | 「デジタル送信オプションの設定」を参照。 |
| | | **[ネットワーキング]** タブ | ネットワークのステータスが表示され、ネットワークの設定を行うことができます。 | 「ネットワーキング画面からのネットワーク操作の管理」を参照。 |
| 3 | メニュー | タブによって異なります。 | メニューを表示するには、タブをクリックします。 | |
| 4 | その他のリンク | **[hp Instant Support]** | HP 製品の問題の解決方法と利用可能な追加サービスに関する説明を示す一連の Web リソースに接続します。 | • 「その他のリンクのリソースとしての使用」を参照。<br>• 「hp Instant Support 」を参照。<br>• 「製品サポート 」を参照。<br>• 「[サービス プロバイダ] リンクと [サービスの連絡先] リンク」を参照。 |
| | | **[サプライ品の購入]** | 使用している HP 製品用の HP 純正サプライ品をインターネット経由で注文できます。 | |
| | | **[製品サポート]** | 問題を解決する際に、HP の Web サイトに掲載されている製品固有のヘルプにアクセスできます。 | |
| 5 | ログイン/ログオフ | ユーザーのタイプによって異なります | IT 管理者またはサービスプロバイダとしてログインします。 | 「ログインとログオフ」を参照。 |
| 6 | 画面 | メニュー項目によって異なります | メニュー項目をクリックして画面を表示します。 | • 「HP EWS の [情報] タブの画面での製品ステータスの表示」を参照。<br>• 「[設定] 画面からの製品の設定」を参照。<br>• 「ネットワーキング画面からのネットワーク操作の管理」を参照。 |

# 2 HP EWS の [情報] タブの画面での製品ステータスの表示

**[情報]** タブから表示可能な画面は読み取り専用で、これらの画面から製品を設定することはできません。 HP EWS を使用して製品を設定する方法については、「[設定] 画面からの製品の設定」を参照してください。

**注記** 一部の製品でサポートされていない画面もあります。

# デバイスのステータス

**[デバイスのステータス]** 画面は、製品の現在のステータスを確認するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 2-1 [デバイスのステータス] 画面**

**表 2-1** デバイスのステータス

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ステータス | デバイスのステータス (コントロール パネル ディスプレイに表示されるのと同じ情報) が表示されます。 |
| 3 | コントロール パネル ボタン | コントロール パネル ボタンは、製品のボタンと同じように使用します。 この画面に表示するコントロール パネル ボタンを選択するには、**[設定]** タブの **[セキュリティ]** 画面に進みます。 |
| 4 | サプライ品 | 各サプライ品の残量がパーセントで表示されます。<br><br>**注記** HP EWS には、ステイプル カートリッジのステータス情報も表示されます (HP LaserJet M5025mfp および HP LaserJet M5035mfp 製品のみ)。 |
| 5 | サプライ品詳細 | **[サプライ品のステータス]** 画面が表示されます。ここには、製品のサプライ品に関する情報が表示されます。 |

**表 2-1  デバイスのステータス (続き)**

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 6 | メディア | 給紙トレイと排紙ビンのステータスと設定情報が表示されます。<br><br>トレイが完全に空になるまでメディアのステータスは **[OK]** になっており、 トレイが空になるとステータスは **[なし]** になります。<br><br>**注記**　HP EWS には、スタッカ ビンのステータス情報も表示されます (HP LaserJet M5025mfp および HP LaserJet M5035mfp 製品のみ)。 |
| 7 | 設定の変更 | **[その他の設定]** 画面が表示されます。ここでは、用紙タイプの設定を変更できます。 |

## プリンタ設定ページ

**[設定ページ]** 画面は、製品の現在の設定を表示したり、問題を解決したり、オプションのアクセサリ（DIMM メモリなど）が取り付けられているかどうかを確認するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

HP LaserJet XXXX MFP / 192.168.0.10
HP LaserJet XXXX MFP Series
情報
設定
デジタル送信
ネットワーキング
1
デバイスのステータス
プリンタ設定ページ
サプライ品のステータ
イベント ログ
使用状況ページ
デバイス情報
コントロール パネル
印刷
その他のリンク
hp instant support
サプライ品の購入
製品サポート
プリンタ設定ページ
2
デバイス情報
製品名: HP LaserJet XXXX MFP
デバイス名 HP LaserJet XXXX MFP
モデル番号: CXXXXA
デバイスのシリアル番号 XXXXXXXXXX
フォーマッタ番号 HV0004P
DC コントローラ: 93
CPB: 2.069 (0.0)
SCB: KON002 9.9
ファームウェアのデータコード: 20060801 20060801
サービス ID: 00000
PS 待機タイムアウト: 300 秒
エンジン サイクル: 10
次のメンテナンスまでのページ数: 200000
前回のメンテナンス以降のページ数: 9
文書フィーダ キット間隔: 60000
前回の文書フィーダの保守以降のページ数: 10
3
インストール済みパーソナリティとオプション
PCL (20010402)
PCLXL (20010402)
POSTSCRIPT (20010402)
PDF (20050131)
DIMM スロット1: 空
EIO 1: 空
EIO 2: HP Scanner Processor Card
内蔵 Jetdirect HP JetDirect J7982E 16.88.110.86
内蔵ディスク: FUJITSU MH: 36 GB
内蔵ファックス 2.35i
ディスク ストレージ: 37898 MB 容量
LDAP ゲートウェイ 設定されていません
SMTP ゲートウェイ mail.boi.hp.com
hp MFP Digital Send サーバ 15.39.100.2
4
メモリ
取り付け済みの DIMM メモリ: 0 MB
搭載メモリ:
システム: 256 MB
イメージ: 0 MB
総メモリ: 256 MB
DWS: 6.00
リソースの自動保存は有効になっています
5
セキュリティ
コントロール パネルのロック: なし
コントロール パネルのパスワード: 無効
デバイス タイプ: ディスク 書き込み禁止: 無効
ファイル システム アクセス:
PJL: 有効
PML: 有効
NFS: 有効
PostScript: 有効
セキュア ディスク消去モード: 非セキュア高速消去
ダイレクト ポート (USB/IEEE 1284): 有効
6
用紙トレイとその他のオプション
デフォルト用紙サイズ: レター
トレイ 1 サイズ: 任意のサイズ
トレイ 1 タイプ: 任意のタイプ
トレイ 2 サイズ: レター
トレイ 2 タイプ: 標準
トレイ 3 サイズ: レター
トレイ 3 タイプ: 標準
トレイ 4 サイズ: レター
トレイ 4 タイプ: 標準
トレイ 5 サイズ: レター
トレイ 5 タイプ: 標準
トレイ 6 サイズ: レター
トレイ 6 タイプ: 標準
両面印刷ユニット
内蔵
入力トレイ:
1: トレイ 1、100 枚
2: トレイ 2、250 枚
3: トレイ 3、250 枚
4: トレイ 4、500 枚
5: トレイ 5、500 枚
6: トレイ 6、500 枚
排紙ビン:
1: 標準排紙ビ?250 枚、上向き


図 2-2 [設定ページ] 画面

**表 2-2 プリンタ設定ページ**

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | デバイス情報 | デバイスのシリアル番号、バージョン番号、およびその他の情報が表示されます。 |
| 3 | インストール済みパーソナリティとオプション | 次の情報が表示されます。<br>● 製品 (Jetdirect または内蔵 Jetdirect) に接続されているすべてのネットワーク デバイスのバージョンと TCP/IP アドレス<br>● インストールされているすべてのプリンタ言語 (Printer Command Language [PCL] および PostScriptR [PS] など)<br>● 各 DIMM スロットおよび EIO スロットに取り付けられているオプション<br>● ホスト USB コントローラとして使用されているプリンタに接続可能な USB デバイス (マス ストレージ デバイス、カード リーダー、またはキーパッドなど)<br>注記 HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 では、[LDAP ゲートウェイ] および [DSS サーバ] エントリは表示されません。 |
| 4 | メモリ | メモリ情報、PCL Driver Work Space (DWS)、リソース保存情報が表示されます。 |
| 5 | セキュリティ | コントロール パネルのロック、ディスクの書き込み禁止オプション、および直接接続ポート (USB またはパラレル) のステータスが表示されます。<br>直接接続ポートのステータスは、**[設定]** タブの **[セキュリティ]** 画面で **[ダイレクト ポートを無効にする]** チェック ボックスをオフにすることで変更できます。 |
| 6 | 用紙トレイとその他のオプション | 製品にセットされている各トレイに指定されているメディアのサイズとタイプが表示されます。 製品に両面印刷ユニットまたは用紙処理アクセサリが取り付けられている場合は、それらのデバイスに関する情報もここに表示されます。 |

# サプライ品のステータス

**[サプライ品のステータス]** 画面には、サプライ品の詳細情報と HP 純正サプライ品の製品番号が表示されます。 (サプライ品を注文する際は、製品番号を控えておいてください)。以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

図 2-3 **[サプライ品のステータス]** 画面

表 2-3 サプライ品のステータス

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | [サプライ品の購入] リンク | 希望の小売店にサプライ品をオンラインで注文することができる Web ページに接続するのに使用します。 |
| 3 | プリント カートリッジ情報 | 有効にしている場合、サプライ品の残量パーセントと予想ページ数（このサプライ品が空になるまでに印刷できるページ数）、このサプライ品で処理した合計ページ数、このサプライ品のシリアル番号と HP 製品番号、サプライ品が下限値に達したかどうかが表示されます。<br><br>製品のコントロール パネルで **[空を無視]** オプションを有効にしている場合は、サプライ品を使い切ったときにメッセージが表示され、そのカートリッジが「空を無視」設定で使用されたことが示されます。<br><br>**注記** HP 純正品ではないサプライ品を使用した場合は、デバイスを使用できない可能性があることを示すメッセージが表示されます。 また、HP 純正品以外のサプライ品を使用した場合のリスクに関する警告メッセージも表示されます。 サプライ品のステータスに関する詳細情報は表示されません。 |
| 4 | 長寿命サプライ品情報 | 有効にしている場合、サプライ品の残量パーセントと予想ページ数（このサプライ品が空になるまでに印刷できるページ数）が表示されます。 |

**表 2-3** サプライ品のステータス (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| | |  **注記** また、ステイプル カートリッジのステータス情報も表示されます (HP LaserJet M5025mfp および HP LaserJet M5035mfp 製品のみ)。 |

# イベント ログ

[イベント ログ] 画面には、紙詰まり、サービス エラー、その他の状態など、プリンタに関するイベントが表示されます。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

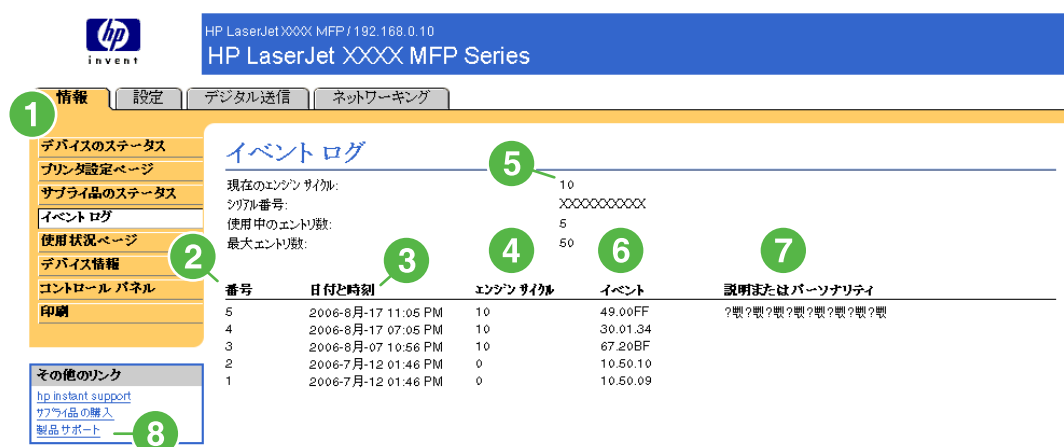



図 2-4 [イベント ログ] 画面

表 2-4 イベント ログ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 番号 | エラーが発生した順番が表示されます。 最後に発生したエラーが一番大きい値になります。 |
| 3 | 日付と時刻 | ログに記録された各イベントの日付と時刻が表示されます。 |
| 4 | エンジン サイクル | エラーが発生したときに製品が完了したエンジン サイクル数が表示されます。 製品は、印刷またはコピーするレター/A4 サイズのページ毎に 1 つのエンジン サイクルを完了します。 |
| 5 | 現在のエンジン サイクル | 製品が現在までに完了したエンジン サイクル数が表示されます。 |
| 6 | イベント | 各イベントの内部イベント コードが表示されます。 |
| 7 | 説明またはパーソナリティ | 一部のイベントの簡潔な説明が表示されます。 |
| 8 | [製品サポート] リンク | HP サポート Web サイトにアクセスして、製品固有のトラブル解決情報を確認できます。 |

# 使用状況ページ

**[使用状況ページ]** 画面には、製品で処理したメディアのサイズ毎のページ数と、両面印刷したページの数が表示されます。 合計は、印刷数の合計値に [単位] 値を乗算して計算されます。

この画面の情報により、用意しておくトナーまたは用紙の量を判断できます。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

HP LaserJet XXXX MFP / 192.168.0.10

HP LaserJet XXXX MFP Series

情報 | 設定 | デジタル送信 | ネットワーキング

- デバイスのステータス
- プリンタ設定ページ
- サプライ品のステータス
- イベント ログ
- 使用状況ページ
- デバイス情報
- コントロール パネル
- 印刷

その他のリンク

- hp instant support
- ｻﾌﾟﾗｲ品の購入
- 製品サポート

使用状況ページ

デバイス情報

| | |
|---|---|
| プリンタのシリアル番号: | XXXXXXXXXX |
| デバイス名 | HP LaserJet XXXX MFP |

総使用状況 (同等値)

| プリンタ ページ サイズ | 片面印刷 ページ カウント | 片面印刷 単位 | 両面印刷 ページ カウント | 両面印刷 単位 | 合計 | 両面印刷 1 ｲﾒｰｼﾞ ページ カウント |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾚﾀｰ | 10 | 1.0 | 0 | 2.0 | 10.0 | 0 |
| ﾘｰｶﾞﾙ | 0 | 1.3 | 0 | 2.6 | 0.0 | 0 |
| A4 | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 | 0 |
| ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ | 0 | 0.8 | 0 | 1.6 | 0.0 | 0 |
| 11x17 | 0 | 2.0 | 0 | 4.0 | 0.0 | 0 |
| A3 | 0 | 2.0 | 0 | 4.0 | 0.0 | 0 |
| 封筒 #10 | 0 | 0.4 | ** | ** | 0.0 | ** |
| 封筒 Monarch | 0 | 0.3 | ** | ** | 0.0 | ** |
| 封筒 C5 | 0 | 0.6 | ** | ** | 0.0 | ** |
| 封筒 DL | 0 | 0.4 | ** | ** | 0.0 | ** |
| B4 (JIS) | 0 | 1.5 | 0 | 3.0 | 0.0 | 0 |
| B5 (JIS) | 0 | 0.7 | 0 | 1.4 | 0.0 | 0 |
| 封筒 B5 | 0 | 0.7 | ** | ** | 0.0 | ** |
| ｶｽﾀﾑ | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 | 0 |
| D ﾎﾟｽﾄｶｰﾄﾞ(JIS) | 0 | 1.0 | ** | ** | 0.0 | ** |
| A5 | 0 | 0.5 | 0 | 1.0 | 0.0 | 0 |
| 8K | 0 | 1.7 | 0 | 3.4 | 0.0 | 0 |
| 16K | 0 | 0.8 | 0 | 1.6 | 0.0 | 0 |
| Letter Rotated | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 | 0 |
| A4 ROTATED | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 | 0 |
| A6 | 0 | 1.0 | ** | ** | 0.0 | ** |
| B6 (JIS) | 0 | 1.0 | ** | ** | 0.0 | ** |
| 8.5x13 | 0 | 1.1 | 0 | 2.2 | 0.0 | 0 |
| ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ | 0 | 0.5 | ** | ** | 0.0 | ** |
| 12x18 | 0 | 2.3 | ** | ** | 0.0 | ** |
| RA3 | 0 | 2.1 | ** | ** | 0.0 | ** |
| **プリンタの使用回数** | | | | | **10.0** | |

| | |
|---|---|
| 印刷された合計コピー ページ数: | 11 |
| 印刷された合計ファックス ページ数 | 0 |

| ｽｷｬﾝ数 (ｺﾋﾟｰ、送信、ﾌｧｸｽ) ページ サイズ | 片面印刷 ページ カウント | 片面印刷 単位 | 両面印刷 ページ カウント | 両面印刷 単位 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| ﾚﾀｰ | 13 | 1.0 | 0 | 2.0 | 13.0 |
| ﾘｰｶﾞﾙ | 0 | 1.3 | 0 | 2.6 | 0.0 |
| A4 | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 |
| ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ | 0 | 0.8 | 0 | 1.6 | 0.0 |
| 11x17 | 0 | 2.0 | 0 | 4.0 | 0.0 |
| A3 | 0 | 2.0 | 0 | 4.0 | 0.0 |
| B4 (JIS) | 0 | 1.5 | 0 | 3.0 | 0.0 |
| B5 (JIS) | 0 | 0.7 | 0 | 1.4 | 0.0 |
| ｶｽﾀﾑ | 0 | 1.0 | 0 | 2.0 | 0.0 |
| A5 | 0 | 0.5 | 0 | 1.0 | 0.0 |
| 8.5x13 | 0 | 1.1 | 0 | 2.2 | 0.0 |
| ｽﾃｰﾄﾒﾝﾄ | 0 | 0.5 | 0 | 1.0 | 0.0 |
| **合計スキャナ使用量** | | | | | **13.0** |

| | |
|---|---|
| コピージョブのスキャン数 | 11 |
| 送信ジョブのスキャン数 | 4 |
| ADF 片面印刷ページ: | 10 |
| ADF 両面印刷ページ: | 0 |
| ADF 合計ページ: | 10 |
| 平面スキャン カウント | 5 |

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾓｰﾄﾞと用紙経路の使用方法 (実際)

**プリント モードの使用方法**

| プリント モード | 合計 |
|---|---|
| 標準 | 10 |
| 高 1 | 0 |
| 高 2 | 0 |
| 封筒モード | 0 |
| 低1 | 0 |
| 低2 | 0 |
| 低3 | 0 |
| **合計** | **10** |

**用紙経路の使用方法**

| ｿｰｽ | ﾍﾟｰｼﾞ数 | 送信先 | ﾍﾟｰｼﾞ数 |
|---|---|---|---|
| 封筒フィーダ | 0 | 上向き | 0 |
| 手動フィード トレイ | 0 | 下向き | 10 |
| トレイ 1 | 10 | 外部ビン | 0 |
| トレイ 2 | 0 | その他 | 0 |
| トレイ 3 | 0 | **合計** | **10** |
| 外部トレイ | 0 | | |
| その他 | 0 | | |
| **合計** | **10** | | |

ﾃﾞﾊﾞｲｽの印刷量の履歴

カバレージ 3.302%

**図 2-5 [使用状況ページ] 画面**

**表 2-5** 使用状況ページ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 総使用状況 (同等値) | 印刷したページのタイプ、片面印刷ページ数、両面印刷ページ数、印刷した合計ページ数を示します。 |
| 3 | 単位コスト | 1 単位は、標準 A4 サイズ (レター サイズ) 1 ページ分です。 その他のすべてのページ サイズは、この標準サイズに対するサイズになります。 両面印刷した A4 サイズ (レター サイズ) 1 ページは 2 単位になります。 |
| 4 | 1 イメージを両面印刷 | [1 イメージを両面印刷] とは、両面印刷ジョブの一部として印刷されたが、裏面が空白のページのことを表します。 |
| 5 | プリント モードと用紙経路の使用方法 (実際) | カラーおよびモノクロ (白黒) 印刷ジョブで使用した各種印刷モードを示します。 |
| 6 | デバイスの印刷量の履歴 | 印刷した各ページで使用したトナーの平均量を示します。 |

# デバイス情報

**[デバイス情報]** 画面には、以下の情報が表示されます。

- デバイス名
- デバイスの場所
- アセット番号
- 会社名
- 担当者
- 製品名
- デバイス モデル
- デバイスのシリアル番号

製品名、デバイス モデル、およびデバイスのシリアル番号が自動的に生成されます。 この画面のその他の情報は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** 画面で設定できます。

図 2-6 **[デバイス情報]** 画面

# コントロール パネル

**[コントロール パネル]** 画面には、実際のコントロール パネルと同じ状態で製品のコントロール パネル ディスプレイが表示されます。 この画面には製品のステータスが表示されるため、製品のトラブルを解決する際に役立ちます。

**注記**　この画面の外観は製品によって異なる場合があります。

**図 2-7 [コントロール パネル] 画面**

# 印刷

**注記**　**[印刷]** 画面 (および左側の **[印刷]** メニュー) は、**[設定]** タブの **[セキュリティ]** 画面で表示されるように設定した場合にのみ表示されます。 セキュリティ上の理由により **[印刷]** 画面を表示しないようにするには、**[セキュリティ]** 画面を使用します。 詳細については、「セキュリティ」を参照してください。

**[印刷]** 画面は、印刷準備のできているファイルを印刷したり、製品のファームウェアをリモートから更新するのに使用します。

**[印刷]** 画面を使用して、HP EWS をサポートしている製品から 1 度に 1 つのファイルを印刷できます。 この機能を使用すると、自分のマシンに本製品のプリンタ ドライバがインストールされていなくても、いつでもどこでも印刷を行うことができるため、この機能はとくにモバイル ユーザーにとって便利です。

印刷できるのは、印刷準備のできているファイルです。たとえばアプリケーションで印刷するときに「ファイルへ出力」オプションを使用して生成した印刷用ファイルなどです。 一般的な印刷用ファイルの例は、.PS (PostScript)、.PDF (Adobe Portable Document Format)、.PRN (Windows 印刷用ファイル) などのファイル名拡張子が付いているファイルなどです。

また、**[印刷]** 画面を使用して製品のファームウェアを更新することもできます。 製品のファームウェアを更新するのに追加のソフトウェアをインストールする必要がないため、この機能は特に便利です。 使用している製品の更新されたファームウェア ファイルが存在する場合は、それらのファイルを製品のサポート Web サイトからダウンロードできます。

- www.hp.com/go/LJM3027mfp_firmware
- www.hp.com/go/LJM3035mfp_firmware
- www.hp.com/go/LJM4345mfp_firmware
- www.hp.com/go/LJM5025mfp_firmware
- www.hp.com/go/LJM5035mfp_firmware

以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

図 2-8 **[印刷]** 画面

**表 2-6** 印刷のページ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | デバイスのステータス | デバイスのステータス (**[デバイスのステータス]** 画面とコントロール パネル ディスプレイに表示される情報と同じ情報) が表示されます。 |
| 3 | ファイルの選択 | ノートブック、コンピュータ、またはネットワーク ファイル サーバにあるファイルを印刷します。 |

## [印刷] 画面からのファイルの印刷またはファームウェアの更新

**[印刷]** 画面からファイルを印刷したり、ファームウェアを更新するには、以下の手順に従います。

1. **[参照]** をクリックして、マシン上またはネットワーク上にある印刷するファイルを選択します。
2. **[適用]** をクリックします。

# 3 [設定] 画面からの製品の設定

**[設定]** タブの画面を使用して、コンピュータから製品を設定します。

**注記** 一部の製品でサポートされていない画面もあります。

# デバイスの設定

**[デバイスの設定]** 画面を使用して、デバイス情報ページを印刷したり、デバイスをリモートから設定できます。

この画面のメニューは、デバイスのコントロール パネルのメニューとほぼ同じです。 デバイスのコントロール パネルの一部のメニューは、HP EWS から使用することはできません。 使用しているデバイスがサポートしているメニューの詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

以下の図、表、および手順の例に、この画面の使用方法を示します。

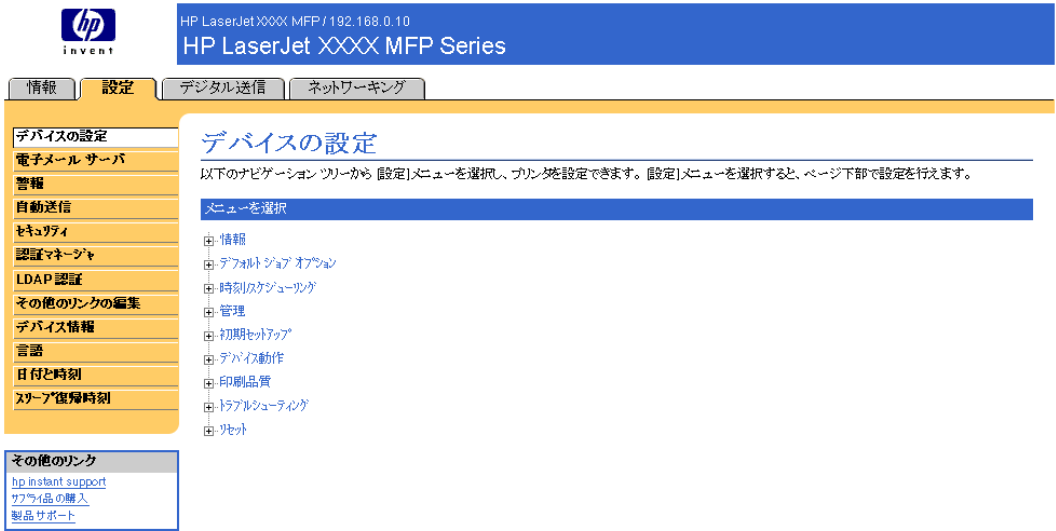



図 3-1 **[デバイスの設定]** 画面

表 3-1 デバイスの設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 | |
|---|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 | |
| 2 | メニューを選択 | **[情報]** メニュー | デバイスとその設定の詳細を示すデバイス情報ページを印刷します。 |
| | | **[ファックス]** メニュー | ファックスの設定を行ったり、ファックスの使用状況に関するレポートを取得できます。 |
| | | **[用紙処理]** メニュー | 各トレイにセットされているメディアのタイプを設定します。 |
| | | **[デバイスの設定]** メニュー | デバイスの動作に影響を与えるデバイスの設定を行います。 たとえば、印刷品質の設定や排紙ビンなど、デバイスのパーソナリティ設定をこのメニューから設定できます。 |
| | | **[診断]** メニュー | デバイスのトラブルを解決するための情報を取得できます。 |

**表 3-1** デバイスの設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 3 | プラス記号 (⊞) | メニューの横にあるプラス記号をクリックするか、メニュー自体をクリックすると、サブメニューまたはサブエントリが表示されます。 |
| 4 | **[一時停止]** | デバイスを一時停止する場合は、このチェック ボックスをオンにします。 |

## [デバイスの設定] 画面のメニューの使用

手順の例を以下に示します。 同様の手順に従って、他のメニュー項目を設定することもできます。

以下の手順に従って設定ページを印刷します (これは手順の例です)。

1. **[情報]** をクリックします。

2. 表示または印刷する情報ページのチェック ボックスをオンにして、**[適用]** をクリックします。

注記　プリンタ ドライバとソフトウェア プログラムにより、**[印刷]** メニューおよび **[用紙処理]** メニューに行った設定が頻繁に変更されます。 詳細については、製品に付属のユーザーズ ガイドを参照してください。 変更内容は、**[デバイスのステータス]** 画面、**[設定ページ]** 画面、および **[用紙処理]** メニューに反映されます。

# 電子メール サーバ

**[電子メール サーバ]** 画面は、送信メールの設定を行うのに使用します。 製品の警報など、電子メール メッセージを送信および受信するにはこの画面の設定を使用します。 以下の図、表、および手順に、この画面の使用方法を示します。

**図 3-2 [電子メール サーバ] 画面**

**表 3-2** 電子メール サーバ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 送信メール | 警報または自動送信機能を使用する場合は、送信メールを設定します。 詳細については、「[警報] 画面の使用 」を参照してください。 |
| 3 | 返信の電子メール アドレス | デバイスの警報に表示されるデバイスの電子メール アドレスです。 詳細については、「返信先電子メール アドレスの設定」を参照してください。 |

## 送信メールの設定

警報または自動送信機能を使用する場合は、送信メールを設定する必要があります。

1. 以下の情報を収集します (送信メールの設定に必要な情報は、通常、社内のネットワーク管理者または電子メール管理者によって提供されます)。
   - ネットワーク上の SMTP メール サーバの TCP/IP アドレス。 EWS は、SMTP サーバの TCP/IP アドレスを使用して、電子メール メッセージを他のコンピュータに転送します。
   - 社内で電子メール メッセージのアドレスを指定するのに使用する電子メール ドメイン名サフィックス。
2. **[送信メールを使用する]** チェック ボックスをオンにします。
3. SMTP サーバの TCP/IP アドレスを **[SMTP サーバ]** テキスト ボックスに入力します。

4. **[ドメイン名]** テキスト ボックスにドメイン名を入力します。

5. **[適用]** をクリックして変更を保存します。

## 返信先電子メール アドレスの設定

**[電子メール サーバ]** ページで返信先電子メール アドレスを設定すると、製品の識別情報が設定されます。 たとえば、**[ユーザー名]** フィールドに「anyone」と入力して、**[ドメイン名]** フィールドに「your.company.com」と入力すると、製品から送信されるすべての電子メールの送信元は anyone@your.company.com になります。 この例で、anyone@your.company.com は製品の識別情報です。

# 警報

IT 管理者は **[警報]** 画面を使用して、問題またはステータスの警報を電子メール メッセージで送信するように製品を設定できます。任意のユーザーに この機能を設定すると、サプライ品、用紙経路のステータス、およびその他のサービスやアドバイス情報に関する警報が自動的に送信されます。 複数のユーザーが警報を受信するように設定したり、各ユーザーが特定の警報のみ受信するように設定できます。 たとえば、プリント カートリッジの注文や紙詰まりの解消を担当している管理アシスタントが、トナーの残量が少なくなったり、紙詰まりが発生したときに事前に警告を受け取ることができます。 同様に、長寿命サプライ品を取り扱う外部のサービス プロバイダが、製品のメンテナンスの実行、正面または背面ステイプラの取り付けなどのニーズに関する警報を受け取ることができます。

**注記** 各ユーザーは警報先リストを最大 4 つ作成でき、各リストには最大 20 名の受信者を設定できます。

**[コントロール パネルに表示しないメッセージの選択]** オプションをオンにして (**[新しい警報先リスト]** ボタンを押して表示される **[警報 - セットアップ]** 画面で設定可能)、**[カートリッジ残量少]** または **[カートリッジが空になりました]** サプライ品ステータス メッセージをコントロール パネルに表示しないようにすることができます。 いずれかまたは両方のメッセージを受信するように選択した場合だけ、コントロール パネルにメッセージが表示されなくなります。

以下の図、表、および手順で、この画面を使用して、警報先および警報先リストを編集、テスト、および削除する方法について説明します。

**注記** 警報を送信するためには、送信メールを有効にする必要があります。 送信メールを有効にする方法については、「送信メールの設定」を参照してください。

**図 3-3 [警報]** 画面

**表 3-3** 警報

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 警報先リストの概要 | 現在選択されている各警報先が表示されます。 |
| 3 | 編集 | 警報先または警報先リストを変更するには、このボタンをクリックします。 |

表 3-3 警報 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 4 | テスト | テスト警報を警報先または警報先リストに送信するには、このボタンをクリックします。 |
| 5 | 削除 | 警報先または警報先リストを削除するには、このボタンをクリックします。 |
| 6 | 新しい警報先リスト | 新しい警報先リストを設定するには、このボタンをクリックします。 |

## [警報] 画面の使用

最大 20 名の受信者を設定可能な警報先リストを最大 4 つ作成できます。

次の図に **[警報 - セットアップ]** 画面の例を示します。この画面は、**[編集]** または **[新しい警報先リスト]** をクリックすると表示されます。

HP LaserJet XXXX MFP / 192.168.0.10

HP LaserJet XXXX MFP Series

情報 | 設定 | デジタル送信 | ネットワーキング

デバイスの設定
電子メール サーバ
警報
自動送信
セキュリティ
認証マネージャ
LDAP 認証
その他のリンクの編集
デバイス情報
言語
日付と時刻
スリープ復帰時刻

その他のリンク
hp instant support
サプライ品の購入
製品サポート

## 警報 - セットアップ

**手順 1: リスト名の入力**

警報先リストの名前を入力します。

リスト名:

**手順 2: 警報先の入力**

以下のいずれかの形式で、警報先 (最大 20) を入力します:

電子メール アドレス (例: your~name@your~company.com)
モバイル デバイス (例: 208-555-5555@mobile~company.net)
Web サイトへの送信 (例: <http://www.your~server.com>)

**複数の警報先は、セミコロン (;) またはカンマ (,) で区切ります。**

警報先:

**手順 3: 警報の選択**

警報先に送信する警報を選択します。一般的な警報がここに一覧表示されます。

| 警報名 | 選択 | しきい値* |
|---|---|---|
| カートリッジを注文してください | ☐ | 10 (0-100) パーセント |
| カートリッジを交換してください | ☐ | |
| HP 製ではないサプライ品が取り付けられています | ☐ | |
| 紙詰まりを取り除きます | ☐ | 2 分経過 |
| 引き出し、ドア、カバーを閉じてください | ☐ | 2 分経過 |
| トレイが開いています | ☐ | 2 分経過 |
| トレイが空です (給紙) | ☐ | 2 分経過 |
| ADF 紙詰まり | ☐ | 2 分経過 |

***しきい値を変更すると、その変更がこのデバイスのすべての送信先に適用されます。**

追加の警報

この製品に関するすべての警報を表示するには、**[すべての警報を表示]** ボタンをクリックしてください。

**注意: このボタンをクリックすると、現在の変更内容が保存され、警報オプションが一覧表示されたページが開きます。**

[すべての警報を表示]

**手順 4: コントロール パネルに表示しないメッセージの選択**

デバイスのコントロール パネルに表示したくないメッセージ (複数可) を下から選択してください。このオプションは、対応する電子メール警報が前の手順で選択されている場合にだけ表示されます。

☐ カートリッジを注文して交換してください

**手順 5: 電子メール添付ファイルの選択 (オプション)**

この警報先リストの電子メール警報メッセージに添付するファイルを選択してください。ページの例については、**[情報]** タブを参照してください。

☐ サプライ品ステータス ページ
☐ 使用状況ページ
☐ プリンタ設定ページ
☐ イベント ログ ページ

警報の受信先として選択した警報先のいずれかが、自動化されているコンピュータ システムの場合は、このオプションを選択してください。

☐ XML データ

[OK] [キャンセル]

図 3-4 [警報 - セットアップ] 画面

注記　HP LaserJet M5025mfp および HP LaserJet M5035mfp 製品では、利用可能な警報のリストに **[ステイプル カートリッジを注文してください]** と **[ステイプル カートリッジを交換してください]** も表示されます。

### 警報を設定するには

1. 次のいずれかの手順に従います。
   - 新しい警報先リストを作成するには、**[新しい警報先リスト]** をクリックします。

     または
   - 既存の警報先リストを変更するには、変更するリストの横にある **[編集]** をクリックします。

   **[警報 - セットアップ]** 画面が表示されます。
2. **[リスト名]** フィールドに、サービスまたはサプライ品などの名前を入力します。
3. 警報を受信するユーザーの電子メール アドレスを入力します。 大規模な環境では、システム管理者は電子メール アドレスをリスト サーバ、URL、およびモバイル デバイスにルーティングして警報を拡張できます。 各警報先をカンマまたはセミコロンで区切って複数の警報先を追加します。
4. この警報先リストで送信する警報のチェック ボックスをオンにします (製品で使用可能なすべての警報を表示するには、**[すべての警報を表示]** をクリックします)。
5. 警報のしきい値を設定できる場合は、しきい値を設定します。

   サービス警報と用紙経路警報のしきい値には、時間 (分) を指定します。 この時間は、イベントが無視される時間で、この時間が経過すると電子メール警報メッセージが送信されます。 たとえば、[トレイが開いています] 警報のしきい値を 10 分に指定すると、トレイをセットした後あるいは紙詰まりを解除した後にトレイを閉じるまでに 10 分間の余裕ができます。
6. **[コントロール パネルに表示しないメッセージの選択]** で、製品のコントロール パネルに表示しないメッセージを選択します。 この手順は、警報として受信するように選択したメッセージでのみ実行できます。

   注記　ブラウザが JavaScript を受け付けない場合、メッセージを表示しないためのチェック ボックスは常に有効になります。 チェック ボックスで選択した内容は、**[適用]** ボタンを押してページを送信すると有効になります。 表示しないように選択した警報に対応する警報を選択しなかった場合は、**[警報 - セットアップ]** 画面が再度表示され、コントロール パネルに警報を表示しないようにするには、まず対応する警報を選択する必要があることを伝える警告メッセージが示されます。
7. 電子メール警報メッセージに含める添付ファイルを選択します。 添付ファイルには次のページを含めることができます (これらのページの例については、**[情報]** タブを参照してください)。
   - サプライ品ステータス ページ
   - 使用状況ページ
   - プリンタ設定ページ
   - イベント ログ ページ
   - XML データ

警報の受信先として選択した警報先のいずれかが自動化されているコンピュータ システムの場合は、**[XML データ]** オプションを選択してください。 選択した各項目が電子メールに添付されます。 たとえば、**[使用状況ページ]** と **[イベント ログ ページ]** を選択した場合、各項目の添付ファイルがそれぞれ 1 つずつ添付された電子メール メッセージを受信します。 **[XML データ]** オプションも選択した場合は、 [使用状況ページ] の HTML 形式の添付ファイル、[イベント ログ] の HTML 形式の添付ファイル、Instant Support 情報の添付ファイル (拡張子 .XML のテキスト ファイル形式) の 3 つのファイルが添付された電子メール メッセージを受信します。

8. **[適用]** をクリックして情報を保存します。

9. 各追加リストまたは警報先で手順 1 から 7 を繰り返します。

警報先リストの設定をテストするには、以下の手順に従います。

## 警報先リストの設定をテストするには

1. テストする警報先リストの横にある **[テスト]** ボタンをクリックします。

   以下のウィンドウが表示されます。

図 3-5 **[警報 - テスト]** 画面

2. テストする警報先を選択します。

3. 返信先アドレスは製品の電子メール アドレスです。 テスト警報で生成されたすべてのエラーに関するメッセージを受信するには (警報先アドレスが正しくない場合にそれが通知されるようにするなど)、**[返信先アドレス]** ボックスに自分の電子メール アドレスを入力します。

4. 必要に応じて、**[メモ (オプション)]** フィールドにテキストを入力します。このテキストは、電子メール警報メッセージの先頭に追加して表示されます。

5. **[OK]** をクリックします。

### 警報先と警報先リストを削除するには

1. 複数の警報先を設定している場合は、警報先または警報先リストの横にある **[削除]** ボタンをクリックして、警報先または警報先リストを削除できます。

2. **[OK]** をクリックして削除を確認します。

## 製品への電子メール コマンドの送信

情報ページを受信するためのもう一つの方法として、製品に対して情報ページを送信するよう要求する方法があります。 送信メールが設定されている場合、製品はサプライ品のステータス ページまたは設定ページなどの情報ページを電子メール メッセージに添付できます。 この機能を使用して問題を解決したり、サプライ品のステータスを確認できます。

### 電子メール メッセージを使用して情報ページを要求するには

製品へ送信するメッセージを作成する場合は、電子メール プログラムで **[宛先]**、**[差出人]**、および **[件名]** フィールドを正しい形式で指定する必要があります。

1. この章で説明している手順に従って、送信電子メール機能を使用できるようにします (詳細については、「電子メール サーバ」を参照してください)。

2. 電子メール プログラムで以下の手順を実行して、製品に送信するメッセージを作成します。

   a. **[宛先]** フィールドに、製品の電子メール アドレスを入力します。 送信メールの設定で指定されているユーザー名と製品名の組み合わせによるアドレスが、製品の電子メール アドレスです。 たとえば、POP3 メールボックス アカウントのユーザー名が「product」で、POP3 サーバが「hp.com」の場合、製品の電子メール アドレスは「product@hp.com」です。

   b. 電子メール プログラムにより、自動的に **[差出人]** フィールドに自分の電子メール アドレスが入力されます。

   c. **[件名]** フィールドに、添付する形式およびページに適したテキストを入力します。 設定ページ、サプライ品のステータス ページ、または自動送信ページを要求できます。 たとえば、設定ページを .HTML ファイル形式で添付するには、「this.configpage?configpage=email&format=html」と入力します。

**表 3-4** 電子メール メッセージを使用した情報ページの要求

| ページ | HTML 形式 | XML 形式 |
|---|---|---|
| 設定ページ | this.configpage?configPage=email&format=html | this.configpage?configPage=email&format=xml |
| サプライ品ステータス ページ | this.configpage?suppliesPage=email&format=html | this.configpage?suppliesPage=email&format=xml |

**表 3-4** 電子メール メッセージを使用した情報ページの要求 (続き)

| ページ | HTML 形式 | XML 形式 |
| --- | --- | --- |
| 自動送信ページ [1] | 該当なし | this.configpage?<br>autosend=email&format=xml |

[1] 自動送信ページは、電子メールの差出人 (前述の手順 2b で指定されたアドレス) には送信されません。 **[設定]** タブの **[自動送信]** 画面に指定した電子メール アドレスに送信されます。

3. **[送信]** をクリックします。

製品は、3 秒毎に新しい電子メール メッセージをチェックします。 製品が電子メール メッセージを受信すると、返信を作成して、要求された情報を差出人の電子メール アドレス (元の電子メール メッセージの **[差出人]** フィールドに指定されているアドレス) に送信します。

**注記** ネットワークや組織のメール サーバで生じる遅延の長さによっては、応答が電子メール プログラムの受信ボックスに到着するまでに 1 分から数時間かかることがあります。 電子メール メッセージで **[宛先]**、**[差出人]**、**[件名]** が正しく指定されていない場合、製品はメッセージを送信しません。

# 自動送信

**[自動送信]** 画面は、製品の設定情報やサプライ品の使用状況に関する情報を、定期的に送信するために使用します。送信先は、サービス プロバイダなど、自由に指定できます。 この機能を使用して、Hewlett-Packard 社やその他のサービス プロバイダは、プリント カートリッジの交換、ページ毎の支払い契約、サポート契約、使用状況のトラッキングなど、さまざまなサービスを提供するための情報を入手して利用できるようになります。 各ユーザーは、最大 20 個の自動送信先を登録できます。 以下の図、表、および手順に、この画面の使用方法を示します。

図 3-6 **[自動送信]** 画面

表 3-5 自動送信

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 自動送信を有効にする | 自動送信機能をオンにするには、このチェック ボックスをオンにします。 |
| 3 | 次の頻度で 1 回送信 [間隔] | 製品の設定情報やサプライ品の使用状況に関する情報を、**[電子メールの送信先]** フィールドに設定されている送信先に送信する頻度を選択します。 |
| 4 | 電子メールの送信先 | 製品の設定情報を送信する電子メール アドレスを最大 20 個まで記載したリストを保存できます。 最初の電子メール アドレスの文字数は 50 文字以内でなければなりません。 |

**表 3-5** 自動送信 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 5 | HP へ送信 | デバイスの設定とサプライ品のステータス情報を HP に定期的に送信するには、このチェック ボックスをオンにします。 情報は、ファイル拡張子が .XML のテキスト形式のファイルで HP の電子メール アドレス (例: myproduct@hp.com) に送信されます。 このファイルは英語で作成されます。<br><br>自動送信機能によって送信された情報を HP がどのように取り扱うかについての詳細を確認するには、**[Hewlett-Packard オンライン プライバシ ステートメント]** をクリックしてください。 |
| 6 | テスト | このボタンをクリックすると、設定が保存され情報が直ちに送信されるので、受信者がメッセージを受信できるかどうかが確認できます。 |

## 自動送信機能を有効にするには

自動送信機能を有効にするには、以下の手順に従います。

1. この章で説明している手順に従って、送信電子メール機能を使用できるようにします (詳細については、「電子メール サーバ」を参照してください)。
2. **[自動送信を有効にする]** チェック ボックスをオンにします。
3. 電子メールの受信者に製品の設定情報とサプライ品の使用状況に関する情報を送信する間隔を指定します。送信間隔は、[日]、[週]、[月]、または [印刷されたページ数] のいずれかを選択し、値を入力して指定します。
4. 送信先（最大 20 個）を、画面に表示される形式で指定します。
5. デバイスの設置とサプライ品のステータスに関する情報を HP に送信するには、**[HP へ送信]** チェック ボックスをオンにします。
6. **[適用]** をクリックします。

# セキュリティ

以下の図と表に、**[セキュリティ]** 画面の使用方法を示します。

図 3-7 **[セキュリティ]** 画面

表 3-6 セキュリティ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | パスワード設定 | 管理者パスワードを設定し、これを使用して誰が EWS の **[設定]**、**[デジタル送信]**、および **[ネットワーキング]** タブにアクセスできるかを制御します。 パスワードを設定すると、**[ログイン]** リンクをクリックしたときにパスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。 詳細については、「ログインとログオフ」を参照してください。<br><br>パスワードを解除するには、**[新規パスワード]** フィールドの文字を削除して、**[パスワードの確認]** フィールドには何も入力せずに **[適用]** ボタンをクリックします。 |
| 3 | ページの印刷 | **[情報]** タブで **[印刷]** 画面を使用できるようにするには、オンにします。 |
| 4 | デバイス ステータス ページに表示 | **[デバイスのステータス]** 画面 (**[情報]** タブ) に表示するコントロール パネル ボタンを選択します。 |
| 5 | ダイレクト ポート | 直接接続による印刷やシステム アクセスを行えないようにするには、**[ダイレクト ポートを無効にする]** をオンにします。 この設定を選択して適用すると、USB ポートと IEEE 1284 ポートが無効になります。<br><br>注記　直接接続デバイスがサポートされていない場合、または HP EWS が現在直接接続で実行されている場合、**[セキュリティ]** 画面の **[直接接続ポートを無効にする]** セクションは表示されません。 |

# 認証マネージャ

**[認証マネージャ]** 画面では、ユーザーがログインしないと使用できないデバイス機能を設定します。以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

注記　HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 では **[認証マネージャ]** 画面は使用できません。

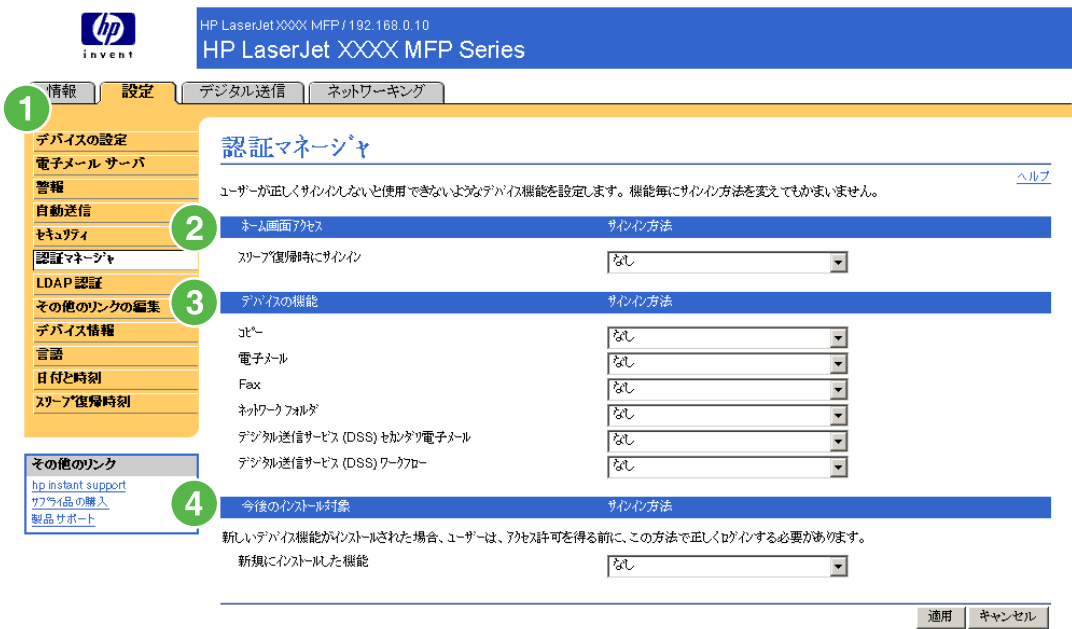



**図 3-8 [認証マネージャ] 画面**

**表 3-7** 認証マネージャ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ホーム画面アクセス | [ホーム] 画面にアクセスするためのログイン方法を指定します。 |
| 3 | デバイス機能 | 以下の機能にアクセスするためのログイン方法を指定します。<br>● コピー<br>● 電子メール<br>● Fax<br>● フォルダに送信<br>● デジタル送信サービス (DSS) セカンダリ電子メール<br>● デジタル送信サービス (DSS) ワークフロー |
| 4 | 今後のインストール対象 | 将来インストールされる新機能にアクセスするためのログイン方法を指定します。 |

# LDAP 認証

**注記**　HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 では **[LDAP 認証]** 画面は使用できません。

**[LDAP 認証]** ページは、デバイス ユーザーを認証するための LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバを設定するのに使用します。 [認証マネージャ] ページの 1 つまたは複数のデバイス機能のログイン方法として [LDAP 認証] を選択した場合、ユーザーがこれらの機能にアクセスするには、有効な認証情報 (ユーザー名とパスワード) を入力する必要があります。

認証は、2 つの独立した部分で構成されています。 デバイスは、まずユーザーの認証情報を LDAP サーバに対して確認します。 デバイスのユーザーが有効な認証情報を指定して認証された場合、デバイスはユーザーの電子メール アドレスと名前を検索します。 いずれかの手順が失敗すると、ユーザーは、LDAP 認証が必要であると設定されている機能へのアクセスが拒否されます。

**[LDAP 認証]** ページを使用して LDAP サーバにアクセスし、ユーザー情報を検索するのに使用するパラメータを設定できます。 このページは、[認証マネージャ] ページの [サインイン方法] で [LDAP] を選択した場合にのみ適用されます。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 3-9 [LDAP 認証] 画面**

**表 3-8** LDAP 認証

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |

**表 3-8** LDAP 認証 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 2 | LDAP サーバのバインド方法 | [LDAP サーバのバインド方法] 設定は、デバイスが LDAP サーバにどのようにアクセスするかを決定します。 最適な方法については、LDAP サーバ管理者にお問い合わせください。<br><br>● シンプル - 選択した LDAP サーバは暗号化をサポートしません。 パスワードを入力した場合、パスワードも暗号化されていない状態でネットワーク経由で送信されることに注意してください。<br><br>● シンプル (SSL 経由) - 選択した LDAP サーバは、SSL (Secure Sockets Layer) プロトコルを使用して暗号化をサポートします。 ユーザー名とパスワードを含むすべてのデータが暗号化されます。 LDAP サーバは、SSL をサポートするように設定する必要があります。これには、身元情報を確定する認証の設定も含まれます。<br><br>また、デバイスのネットワーク インタフェースを認証局 (CA) 証明書とともに設定して、LDAP サーバを検証する必要があります。 CA 証明書は、Web インタフェースの [ネットワーキング] タブで設定します。 一部の LDAP サーバ設定では、クライアント証明書も要求され、これも [ネットワーキング] タブで設定します。 |
| 3 | LDAP サーバ | [LDAP サーバ] 設定は、デバイス ユーザーを認証するのに使用する LDAP サーバのホスト名または IP アドレスです。 SSL を使用する場合は、ここに入力した名前とアドレスが、サーバが送信する証明書の名前と一致する必要があります。<br><br>アドレスを縦棒 (「\|」、ASCII 0x7c) で区切ることで、このフィールドに複数のサーバを指定することができます。 この機能は、プライマリ サーバとバックアップ サーバを指定する場合などに使用できます。 ネットワーク インタフェースは、1 つの認証局 (CA) 証明書のみをサポートしているため、リスト内のすべての LDAP サーバは同じ CA を使用する必要があります。 |
| 4 | ポート | [ポート] 設定とは、サーバが LDAP 要求を処理している TCP/IP ポート番号のことです。 通常、バインド方法が [シンプル] の場合はポート 389 で、[シンプル (SSL 経由)] の場合はポート 636 です。 |
| 5 | バインド プレフィックス | [バインド プレフィックス] 設定は、認証用のユーザーの識別名 (DN: Distinguished Name) を構成するのに使用される LDAP 属性です。 このプレフィックスは、コントロール パネルに入力したユーザー名と組み合わせて、相対識別名 (RDN: Relative Distinguished Name) を形成します。 通常使用されるプレフィックスは「CN」 (common name (一般名) の略) または「UID」 (user identity (ユーザー ID) の略) です。 |
| 6 | バインドおよび検索ルート | [デバイスのユーザーの認証情報を使用] 方法を選択した場合は、認証の両方の段階で [バインドおよび検索ルート] の値が使用されます。 認証情報の検証段階で、この値は RDN に組み合わされてユーザーの完全な識別名 (DN) が構成されます。 ユーザー情報の検索段階で、この値は検索が開始される LDAP エントリの DN です。<br><br>[管理者の認証情報を使用] 方法を選択した場合、[バインドおよび検索ルート] は検索ルートとしてのみ使用されます。 LDAP ディレクトリのベースの検索ルートを指定することができます。デバイスは、LDAP ツリー全体で、デバイスに入力したユーザー名に対応するユーザー オブジェクトを検索します。 |
| 7 | LDAP 属性と共に | LDAP データベース内でデバイス ユーザーの情報を検索するときに、このフィールドに指定した属性の内容が、認証時に入力したユーザー名と比較されます。 この属性は、通常、[バインド プレフィックス] と同じです。 |
| 8 | 次の属性を使用する電子メール アドレス | LDAP データベースでデバイス ユーザーが見つかった後に、[次の属性を使用する電子メール アドレス...] フィールドに指定した LDAP 属性を使用して、ユーザーの電子メール アドレスがデータベースから取得されます。 |
| 9 | および属性を使用する名前 | ユーザーの表示名が [および属性を使用する名前] フィールドに指定した LDAP 属性から取得されます。 |
| 10 | テスト | テスト機能は、設定を適用する前に設定の有効性をテストするのに使用します。 このボタンをクリックすると、デバイスのコントロール パネルでログインする場合と |

表 3-8 LDAP 認証 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| | | 同様に、ユーザー認証情報を入力するように求められます。 入力した認証情報が認証され、LDAP データベース内でユーザー情報が見つかった場合、ログインが成功したことを示すメッセージが表示されます。 そうでない場合は、認証が失敗した理由を示すエラー メッセージが表示されます。 |

# その他のリンクの編集

**[その他のリンクの編集]** 画面は、目的の Web サイトに最大 5 つのリンクを追加したり、カスタマイズするのに使用します。 これらのリンクは、HP EWS のすべての画面で、左側のナビゲーション バーの下の **その他のリンク** ボックスに表示されます。 3 つの固定リンク (**[hp Instant Support]**、**[サプライ品の購入]**、および **[製品サポート]**) が設定されています。 以下の図、表、および手順に、この画面の使用方法を示します。

**図 3-10 [その他のリンクの編集] 画面**

**表 3-9** その他のリンクの編集

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | リンクを追加 | ユーザー定義リンクを追加します。 |
| 3 | ユーザ定義のリンク | 追加されたユーザー定義リンクが表示されます。 リンクを削除するには、この領域を使用します。 |

表 3-9 その他のリンクの編集 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 | |
|---|---|---|---|
| 4 | その他のリンク | **[hp Instant Support]** | 特定の問題を解決するのに役立つ Web リソースに接続したり、製品で使用可能な追加サービスを確認することができます (シリアル番号、エラー状況、およびステータスなどの詳細情報が HP カスタマ・ケアに転送されます。 Hewlett-Packard 社はこの情報を機密情報として取り扱います)。 |
| | | **[サプライ品の購入]** | 希望の小売店にサプライ品をオンラインで注文することができる Web ページに接続します。 |
| | | **[製品サポート]** | HP Web サイトに掲載されている特定の製品のヘルプにアクセスできます。 |
| | | **[サービス プロバイダ]** | サービス プロバイダのホームページに接続します。 このリンクは、サービス プロバイダがリンクを設定した場合にのみ表示されます。 |
| | | **[サービスの連絡先]** | サービスの連絡先と制限事項を示すページに接続します。 このリンクは、サービス プロバイダがリンクを設定した場合のみ表示されます。 |

## リンクの追加

リンクを追加するには、以下の手順に従います。

1. **[リンクを追加]** に、リンクの URL と HP EWS に表示するリンク名を入力します。
2. **[リンクを追加]** をクリックします。

## リンクの削除

リンクを削除するには、以下の手順に従います。

1. **[ユーザー定義のリンク]** で、削除するリンクを選択します。
2. **[選択したリンクを削除]** をクリックします。

# デバイス情報

**[デバイス情報]** 画面は、デバイス名を指定したり、アセット番号を割り当てたり、会社名、デバイスの管理担当者、デバイスの物理的な設置場所を設定するのに使用します。 この画面には、デバイスの TCP/IP アドレス、デバイス名、デバイス モデル、およびシリアル番号も表示されます。

図 3-11 **[デバイス情報]** 画面

**注記** [デバイス情報] 画面で変更を行った場合は、**[適用]** をクリックして変更を保存します。

ここに入力した情報は、**[情報]** タブから表示可能な [デバイス情報] 画面に表示されます。 また、製品が送信する電子メール メッセージにも表示されます。 この情報は、サプライ品を交換したり、問題を解決する際に製品の設置場所を把握するのに便利です。

# 言語

**[言語]** 画面は、HP EWS の画面に表示される言語を選択するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 3-12 [言語] 画面**

**注意　[プリンタ語でページを表示します]** または **[言語を選択]** を選択すると、HP EWS を使用するすべてのユーザーの言語が変更されます。

**表 3-10 言語**

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ブラウザ語でページを表示します<br><br>(これはデフォルトの設定です) | この機能は、Web ブラウザで選択されている言語を検出して、 HP EWS の画面を同じ言語で表示するのに使用します。 |
| 3 | プリンタ語でページを表示します | この機能は、デバイスのコントロール パネルで選択されている言語を検出して、 HP EWS の画面を同じ言語で表示するのに使用します。 |
| 4 | 言語を選択 | HP EWS の画面で使用する言語を以下から選択します。<br>● 英語<br>● フランス語 (フランス)<br>● ドイツ語 (ドイツ)<br>● イタリア語 (イタリア)<br>● スペイン語 (スペイン)<br>● スウェーデン語 (スウェーデン)<br>● デンマーク語 (デンマーク)<br>● ノルウェー語 (ノルウェー) |

**表 3-10** 言語 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| | | ● オランダ語 (オランダ)<br>● フィンランド語 (フィンランド)<br>● ポルトガル語 (ポルトガル)<br>● 中国語 (簡体字)<br>● 中国語 (繁体字)<br>● 日本語<br>● 韓国語 |

**注記** デフォルトの言語は、Web ブラウザで現在使用している言語です。 ブラウザとコントロール パネルの両方とも HP EWS が対応していない言語を使用している場合は、デフォルトで英語が選択されます。 [言語] 画面で変更を行った場合は、**[適用]** をクリックして変更を保存します。

# 日付と時刻

**[日付と時刻]** 画面は、製品の時刻を更新するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 3-13 [日付と時刻] 画面**

**表 3-11** 日付と時刻

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 現在の日付/現在の時刻 | EWS を開いたときの製品の日付と時刻が示されます。 いずれかが正しくない場合、IT 管理者は製品のコントロール パネルまたはこの HP EWS ページで変更することができます。 |
| 3 | 更新 | 画面に表示される製品の日付と時刻を更新するには、このボタンをクリックします。 詳細については、「日付/時刻の形式」を参照してください。 |
| 4 | 日付/時刻の形式 | 日付と時刻の形式を選択可能な画面を開くには、このボタンをクリックします。 |
| 5 | クロックのドリフト補正 | ネットワーク タイム サーバを設定するには、このボタンをクリックします。 これにより、選択したネットワーク タイム サーバを使用してクロックのドリフトが補正されます。 詳細については、「クロックのドリフト補正」を参照してください。 |

## 日付/時刻の形式

**[日付/時刻の形式]** 画面は、日付 (**[日付形式]**) と時刻 (**[時刻形式]**) の表示形式を選択するのに使用します。 以下の図に、**[日付/時刻の形式]** 画面を示します。

図 3-14 **[日付/時刻の形式]** 画面

## クロックのドリフト補正

**[日付/時刻 - クロックのドリフト補正]** 画面は、クロックのドリフト補正を有効にするのに使用します。 以下の図に画面を示します。

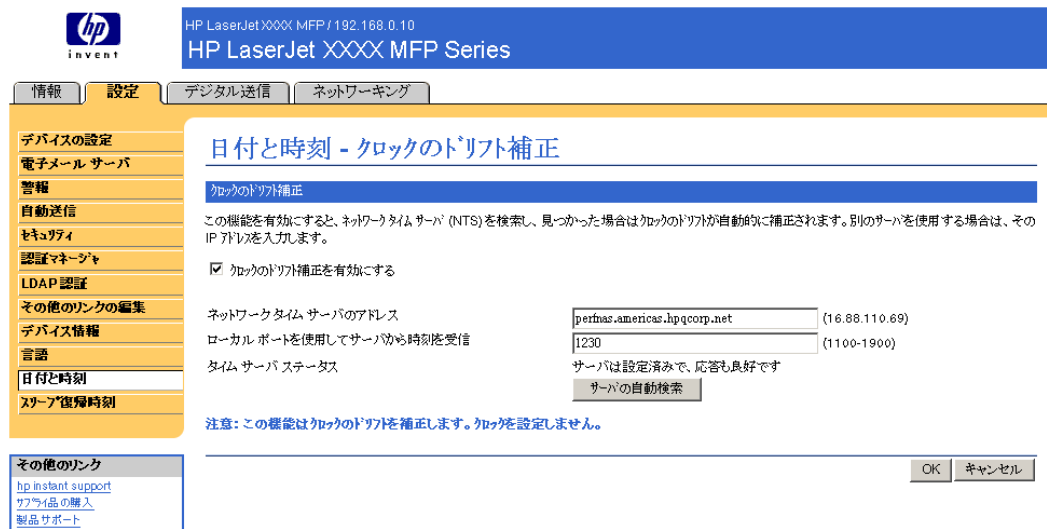



図 3-15 **[日付と時刻 - クロックのドリフト補正]** 画面

製品のクロックのドリフトを補正するためのネットワーク タイム サーバを設定するには、以下の手順を使用します。

注記　この手順を実行することでクロックのドリフト (時間が遅れるまたは進む) は防止できますが、クロックはネットワーク タイム サーバのクロックと**同期されません**。

1. **[クロックのドリフト補正を有効にする]** チェック ボックスを選択します。
2. **[ネットワーク タイム サーバのアドレス]** フィールドで、製品のクロックのドリフトを補正するのに使用するクロックの TCP/IP アドレスを入力します。

   注記　または、**[サーバの自動検索]** ボタンをクリックし、ネットワーク上でタイム サーバを検索して、このフィールドを自動的に入力することもできます。

3. **[ローカル ポートを使用してサーバから時刻を受信]** フィールドに、適切なポートの値を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

注記　この画面は、クロックの設定ではなく、クロックのドリフト補正用のタイム サーバの設定に使用します。 クロックを設定するには、メインの **[日付と時刻]** 画面を使用します。 詳細については、「日付と時刻」を参照してください。

# スリープ復帰時刻

IT 管理者は **[スリープ復帰時刻]** 画面を使用して、製品のスリープ復帰時刻を日単位で設定することができます。 たとえば、07:30 にスリープから復帰して、初期化と校正を完了し、08:00 までに製品が使用可能となるように設定できます。00. 管理者は、曜日毎に異なるスリープ復帰設定を 1 つ設定できます。 また、電力を節約するために、スリープ遅延を設定して、無操作状態が一定時間続いたら製品の電源を自動的にオフにすることもできます。

**図 3-16** [スリープ復帰時刻] 画面

**表 3-12** スリープ復帰時刻

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | スリープ復帰時刻 | スリープ復帰設定を使用する曜日を 1 つまたは複数選択して、製品の電源をオンにする時刻を設定します。 |
| 3 | スリープ遅延 | 製品がスリープ モードに入るまでのアイドル時間を設定します。 スリープ モードでは、エネルギー消費量が少なくてすみます。 |

# 4 デジタル送信オプションの設定

管理者は、**[デジタル送信]** タブの画面を使用して、一部の製品が提供しているデジタル送信機能を制御することができます。

**注記** 一部の製品でサポートされていない画面もあります。

# HP DSS ソフトウェアの使用

HP LaserJet M3027mfp/M3035mfp、M4345mfp、および M5025mfp/M5035mfp 製品 には、デジタル送信ソフトウェア (HP DSS) も付属されており、これを使用してデジタル送信タスクを実行できます。 HP DSS がインストール済みの場合は、HP DSS のすべての画面を読み取り専用で表示できます。 ただし、HP EWS の **[デジタル送信]** 画面で変更を行おうとすると、以下のメッセージが表示されます。

**このﾃﾞﾊﾞｲｽは、<IP address> でデジタル送信ソフトウェアによるサービスを提供されています。 Windows 設定ユーティリティを使用してデバイスを設定してください。**

この場合、デジタル送信オプションは HP デジタル送信ソフトウェアの設定ユーティリティ を使用して設定する必要があります。 これにより設定タスクが一元化され、セキュリティ管理が容易になります。

# 全般的な設定

**[全般的な設定]** 画面は、デジタル送信管理者情報を設定するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 4-1 [全般的な設定] 画面**

**表 4-1** 全般的な設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 名前 | 管理者の名前を入力します。 |
| 4 | 電話番号 (オプション) | 管理者の電話番号を入力します (オプション)。 |
| 5 | 電子メール アドレス | 管理者の電子メール アドレスを入力します。 正しくない形式の電子メール アドレスは拒否されます。 |
| 6 | 場所 (オプション) | 管理者の場所を入力します (オプション)。 |

# 電子メールの設定

製品は、電子メール メッセージを警報先に送信するのに SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) ゲートウェイ サーバを必要とします。 SMTP ゲートウェイが応答していない場合、または設定されていない場合は、以下のメッセージが画面に表示されます。

**0.0.0.0 is not responding or is not a valid SMTP Gateway Server.(0.0.0.0 が応答していないか、有効な SMTP ゲートウェイ サーバではありません。)**

**[電子メールの設定]** 画面は、SMTP 設定を行ったり、電子メールの添付ファイルの最大サイズを設定したり、製品のデフォルトの電子メール アドレスを設定するのに使用します。 また、製品が送信するすべての電子メール メッセージのデフォルトの件名を設定することもできます。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 4-2 [電子メールの設定]** 画面

**表 4-2** 電子メールの設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**デジタル送信** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 電子メール送信 | 電子メール メッセージを製品から直接 SMTP ゲートウェイ サーバに送信します。 |
| 4 | デバイスの SMTP ゲートウェイ | デバイスの電子メール要求を管理する SMTP ゲートウェイ サーバの TCP/IP アドレスまたはホスト名を入力します。 SMTP ゲートウェイの TCP/IP アド |

表 4-2 電子メールの設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| | | レスまたはホスト名がわからない場合は、**[ゲートウェイの検出]** ボタンをクリックして、適切な SMTP ゲートウェイ サーバをネットワークで検索します。<br><br>注記 一部のデバイスは、TCP/IP アドレスだけを認識します。 そのような場合、ホスト名は相当する TCP/IP アドレスに変換されます。 |
| 5 | 最大添付ファイル サイズ | SMTP ゲートウェイ サーバが送信可能な電子メール添付ファイルの最大サイズを選択します。 製品が指定されている最大サイズを超える電子メール添付ファイルを送信する必要がある場合、添付ファイルは小さいファイルに分割され、複数の電子メール メッセージで送信されます。 |
| 6 | SMTP 認証の有効化 | この設定は、送信電子メールの SMTP 認証を要求するのに使用します。<br><br>SMTP 認証は、ユーザー名とパスワードが要求されたときにそれらを SMTP サーバに提供するのに使用します。 ほとんどのインターネット サービス プロバイダ (ISP) がこれらの認証情報を要求します。 |
| 7 | デバイスのユーザーの認証情報を使用 | この設定は、SMTP の [認証] が有効になっていて、各デバイス ユーザーが SMTP サーバのアカウントを持っている場合のみ使用できます。 ほとんどの場合、**[公開認証情報を使用]** の方が適しています。 |
| 8 | 公開認証情報を使用 | この設定は、すべてのユーザーが使用する、デバイスの SMTP 認証用の 1 つの名前とパスワードを設定するのに使用します。 |
| 9 | ゲートウェイの検出 | SMTP ゲートウェイの TCP/IP アドレスまたはホスト名がわからない場合は、このボタンをクリックして、適切な SMTP ゲートウェイ サーバをネットワークで検索します。<br><br>注記 電子メール サービスに ISP を使用している場合、この機能は正しく動作しないことがあります。 ISP に、SMTP ゲートウェイの名前またはアドレス、および電子メールにアクセスするためのユーザー名とパスワードをお問い合わせください。 |
| 10 | テスト | 指定した SMTP ゲートウェイ サーバが有効であり動作していることを確認するには、このボタンをクリックします。 |
| 11 | 電子メール アドレス | デフォルトの差出人の電子メール アドレスを入力します。 |
| 12 | 表示名 | 製品から送信される電子メール メッセージの [差出人] フィールドに表示する名前を入力します。 このフィールドに、「ここに電子メール アドレスを入力してください。」のような説明を指定することもできます。<br><br>注記 名前を指定しないと、**電子メール アドレス** フィールドに入力した電子メール アドレスが送信電子メール メッセージの [差出人] フィールドに表示されます。 |
| 13 | デバイス ユーザーによるデフォルトの [差出人:] アドレスの変更を許可しない | 一般ユーザーが、管理者が設定した電子メール アドレスを変更できないようにするには、このチェック ボックスをオンにします。 |
| 14 | デフォルトの件名 | 必要に応じて、製品が送信するすべての電子メール メッセージに表示する件名を入力します。 このフィールドに、「メッセージの件名を入力してください。」のような説明を指定することもできます。 |
| 15 | 詳細設定 | 製品が送信する電子メール メッセージのメッセージ テキストや添付ファイルの設定を行うための別の画面を表示するには、このボタンをクリックします。 詳細については、「電子メールの詳細設定」を参照してください。 |

# 電子メールの詳細設定

以下の図と表に、**[電子メールの詳細設定]** 画面の使用方法を示します。

**図 4-3 [電子メールの詳細設定]** 画面

**表 4-3** 電子メールの詳細設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | メッセージ テキスト | 製品から送信されるすべての電子メール メッセージの本文に表示されるメッセージ テキストの種類 (組み込みメッセージ/カスタム メッセージ) を選択します。 メッセージ テキストの言語を選択します。 使用可能な言語は、**[設定]** タブの [言語] 画面で設定されているのと同じ言語です。 |
| 4 | ユーザーにより編集可能 | ユーザーが、電子メール メッセージにテキストを追加できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。 |
| 5 | 添付ファイル設定 | 製品から送信される電子メール メッセージの添付ファイルのデフォルト設定を選択します。 |

# ファックス設定

製品は、スキャンした文書を特定のファックス番号に送信して、ファックス機の送信機能をシミュレートすることができます。 製品がファックス モデムを装備している場合は、受信ファックスを処理するように設定することもできます。

注記　**[ファックス設定]** 画面 (および左側の **[Fax]** メニュー) は、製品がファックス モデム ボードを装備している場合のみ使用できます。

**[ファックス設定]** 画面は、製品のファックスへ送信機能を設定するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

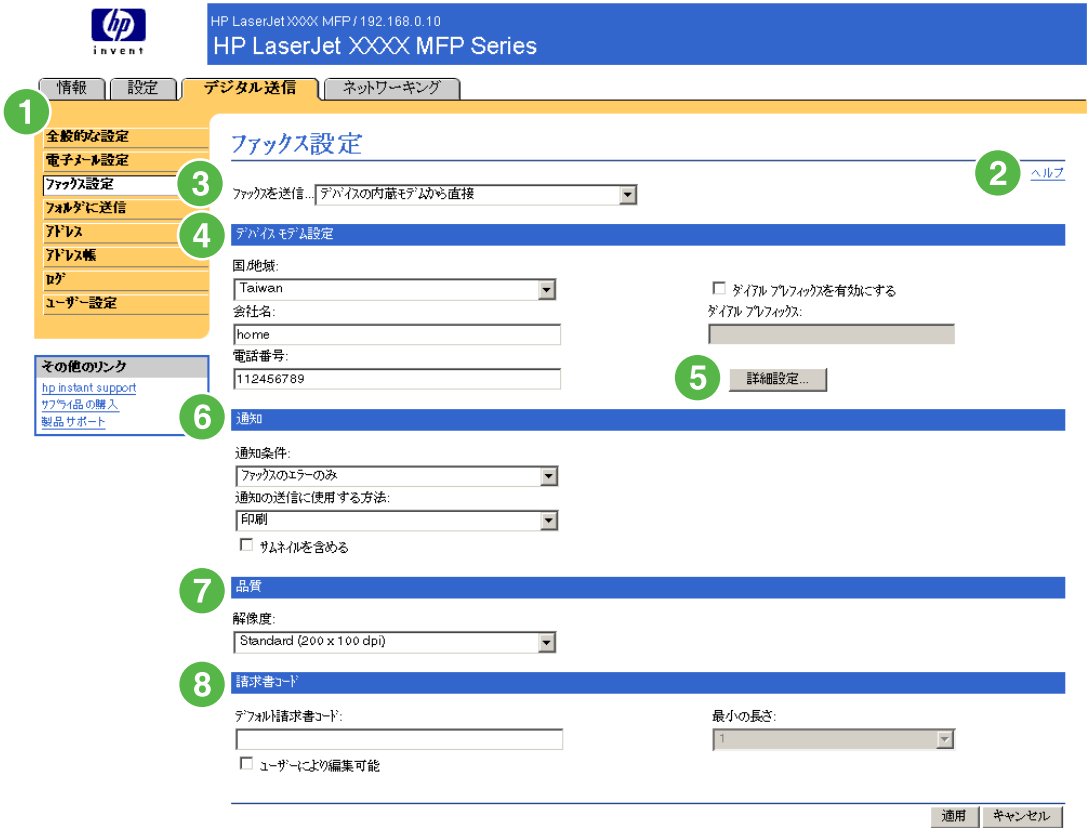



図 4-4 **[ファックス設定]** 画面

表 4-4 Fax

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |

**表 4-4** Fax (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 | |
|---|---|---|---|
| 3 | ファックスを送信 | **[デバイスの内蔵モデムから直接]** | デバイスから直接ファックスを送信します。 このオプションを選択した場合は、以下の情報を選択または入力する必要があります。<br>● 国/地域<br>● 会社名<br>● デバイスの内蔵モデムが接続される電話番号<br>● 該当する場合は、使用している電話システムで必要なプレフィックス番号 |
| | | **[デジタル送信サービスを使用]** | デジタル送信ソフトウェア サービスを使用してファックスを送信します。 |
| 4 | デバイス モデム設定 | **[ファックスを送信]** リストで **[デバイスの内蔵モデムから直接]** を選択した場合は、これらの設定を入力します。 | |
| 5 | 詳細設定 | モデム音量と呼び出し音量など、製品のモデムの詳細設定と、送受信設定を行うための別の画面を表示するには、このボタンをクリックします。 この画面では、ファックス使用状況ログを印刷したり、セキュリティおよび診断設定にアクセスすることができます。 詳細については、「ファックスの詳細設定 」を参照してください。 | |
| 6 | 通知 | ファックスの成功または失敗通知を送信するかどうか、通知を印刷するかどうか、送信者が通知レポートを受信するかどうかなどの通知オプションを設定します。 スキャンしたドキュメントのサムネイル イメージを通知レポートに含める場合は、**[サムネイルを含める]** チェック ボックスを選択します。 | |
| 7 | 品質 | 送信ファックスの解像度を選択します。 | |
| 8 | 請求書コード | 必要に応じて、請求書コードを入力します。 **[ユーザーにより編集可能]** チェック ボックスをオンにして、ユーザーがコードを変更できるようにすることもできます。 請求書コードの最小の長さを設定するには、[最小の長さ] フィールドを使用します。 請求書コードには、1 ～ 16 の値を指定できます。 | |

## ファックスの詳細設定

以下の図と表に、**[ファックスの詳細設定]** 画面の使用方法を示します。

図 4-5 [ファックスの詳細設定] 画面

表 4-5 ファックスの詳細設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 一般 | モデム音量と呼び出し音量や、[JBIG 圧縮] および [エラー修正] をオンまたはオフにするかどうかなどの一般的な設定を選択します。 |
| 4 | 送信 | 送信前にダイアル トーンを確認するかどうか、ファックスの上部にヘッダを表示するかどうか、または受信ファックス回線が使用中または応答しない場合に何回送信を再試行するかなど、製品から送信するファックスの設定を選択します。 |
| 5 | 受信 | ファックスをどの排紙ビンに出力するか、給紙トレイにセットされている用紙のサイズに合せて受信ファックスを拡大/縮小するかどうか、受信ファックスを他のファックス製品へ転送可能な場合の転送先のファックス製品の番号など、受信ファックスの設定を選択します。 |

表 4-5 ファックスの詳細設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 6 | 使用状況ログを印刷 | 内蔵モデムのファックス使用状況ログを印刷するには、このボタンをクリックします。 前回ログがクリアされてから受信または送信したすべてのファックス コールが表示された使用状況ログが印刷されます。 |
| 7 | 使用状況ログをクリア | ファックス使用状況ログのすべてのエントリをクリアするには、このボタンをクリックします。 ファックス使用状況ログを定期的に印刷して記録を保管し、ファックス使用状況ログをクリアしてサイズを最小に保つことをお勧めします。 |
| 8 | セキュリティ | 内蔵モデムのセキュリティ機能を設定するには、このボタンをクリックします。 セキュリティ機能を初めて設定するときには、セキュリティ PIN を入力するように求められます。 その後セキュリティ機能を表示または再設定するには、その PIN を入力する必要があります。 |
| 9 | 診断 | 内蔵モデムの診断機能を設定するには、このボタンをクリックします。 |

**[セキュリティ]** ボタンをクリックすると、**[PIN 番号を設定する]** 画面が表示されます。 この画面を使用して、[Fax] 機能へのアクセスを制御するユーザー固有の個人識別番号 (PIN) を設定することができます。

図 4-6 **[PIN 番号を設定する]** 画面

**[ファックスの詳細設定]** 画面の **[診断]** ボタンをクリックすると、以下の図に示す **[モデム診断]** 画面が表示されます。

**[Print T30 Reports]** フィールドで、T30 レポートを印刷する頻度を設定できます。 T30 レポートは、最後に行われたファックス通信に関する詳細レポートです。 レポートは、失敗したファックスセッションを診断するのに役立ちます。また、サポート コールが必要な場合にサービス技術者によって要求されることがあります。 レポートは、要求した場合、または選択した設定に応じて MFP で印刷されます。

**[信号の強度]** フィールドで、電話回線で通信するのに使用するファックスの信号強度を調整できます。

注意 **[信号の強度]** 設定は、正しく動作していないファックス通信を訂正するために認定サービス技術者から指示があるまで変更しないでください。

HP LaserJet XXXX MFP / 192.168.0.10
HP LaserJet XXXX MFP Series
情報
設定
デジタル送信
ネットワーキング
全般的な設定
電子メール設定
ファックス設定
フォルダに送信
アドレス
アドレス帳
ログ
ユーザー設定
モデム診断
ヘルプ
T30 レポートを印刷...
全ファックス エラー
信号の強度:
0
OK
キャンセル
その他のリンク
hp instant support
サプライ品の購入
製品サポート

図 4-7 [モデム診断] 画面

# フォルダに送信

注記　HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 では **[フォルダに送信]** 画面は使用できません。

**[フォルダに送信]** 画面は、スキャンした文書を共有フォルダまたは FTP サイトに送信するのに使用します。

注記　このツールを使用して共有フォルダまたは FTP サイトを送信先として指定する前に、それらが使用可能になっている必要があります。

以下の図と表に、**[フォルダに送信]** 画面の使用方法を示します。

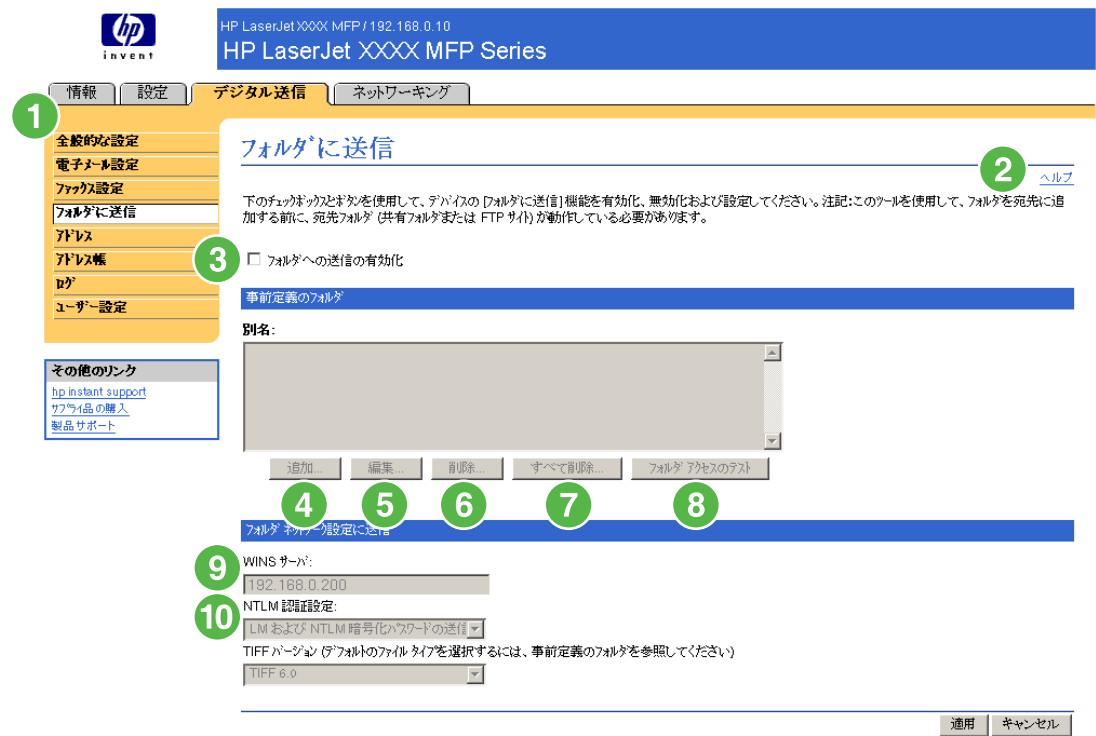



**図 4-8 [フォルダに送信] 画面**

表 4-6 [フォルダに送信] 画面の設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | フォルダへの送信の有効化 | デバイスの [フォルダに送信] 機能を有効にするには、[フォルダへの送信の有効化] チェック ボックスを選択します。 有効にすると、デバイスのフロント パネルに [フォルダに送信] アイコンが表示されます。 ユーザーはこのアイコンを選択して、この機能を使用することができます。 |
| 4 | 追加 | 新しい送信先フォルダを設定するには、[追加] をクリックします。 |
| 5 | 編集 | 事前定義フォルダの設定を表示または変更するには、[編集] をクリックします。 |

表 4-6 [フォルダに送信] 画面の設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 6 | 削除 | 事前定義フォルダのリストから選択したフォルダを削除するには、[削除] をクリックします。 |
| 7 | すべて削除 | リストからすべての事前定義フォルダを削除するには、[すべて削除] をクリックします。 |
| 8 | フォルダ アクセスのテスト | デバイスが事前定義フォルダにアクセスできるかどうかをテストするには、[フォルダ アクセスのテスト] をクリックします。 |
| 9 | WINS サーバ | [WINS サーバ] 設定は、WIN サーバのホスト名または IP アドレスを指定するのに使用します。 送信先フォルダに Windows のパスとフォルダを使用する場合は、この設定を指定する必要があります。 ワークステーションまたはサーバへのパスの形式が \\host-name\\share の場合は、WINS サーバを指定する必要があります。<br>**注記** 送信先のすべての共有フォルダのホスト名が IP アドレス (\\192.000.0.1\Topfolder など) で指定されている場合は、WINS サーバを指定する必要はありません。 この場合は、WINS サーバを 0.0.0.0 に設定します。 |
| 10 | NTLM 認証設定 | [NTLM 認証] 設定は、コンピューティング環境で使用している認証設定を指定するのに使用します。 通常使用されているデフォルト設定は、以下のとおりです。<br>● Windows 95、Windows 98、および Windows Me ホスト - [LM および NTLM 暗号化パスワードの送信] を選択します。<br>● Windows NT 4.0 (サービス パック 4 より前) - [NTLM 暗号化パスワードの送信] を選択します。<br>● Windows NT 4.0 サービス パック 4 - [NTLM V2 認証の使用] を選択します。<br>● Windows 2000 以降のオペレーティング システム - [NTLM V2 認証の使用] を選択します。<br>● 混在環境 - [LM および NTLM 暗号化パスワードの送信] を選択します。 |

## 事前定義フォルダの追加

事前定義フォルダをリストに追加するには、以下の手順に従います。

1. [追加...] をクリックします。 これにより、デバイスでユーザーが選択する送信先フォルダを設定およびテストできます。 [追加] をクリックすると、送信先タイプを選択する Web ページと事前定義フォルダを設定する Web ページが表示されます。 両方のページで、設定を指定して、[OK] ボタンをクリックします。

2. 事前定義フォルダを追加および設定して [OK] をクリックすると、このページに戻ります。 新しい事前定義フォルダが [事前定義フォルダ] リストに表示されます。 各フォルダの別名がリストに表示されます。

## 事前定義フォルダの編集または表示

事前定義フォルダを編集または表示するには、以下の手順に従います。

1. [事前定義フォルダ] リストでフォルダをクリックして選択します。
2. [編集] をクリックすると、事前定義フォルダの設定を表示または変更するための別の Web ページが表示されます。 設定を変更する場合は、[OK] ボタンをクリックしてこのページに戻り、変更を行わない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。

## 事前定義フォルダの削除

デバイスから事前定義フォルダを削除するには、以下の手順に従います。

1. [事前定義フォルダ] リストでフォルダをクリックして選択します。
2. [削除] をクリックして、[OK] をクリックして了承します。 選択した送信先フォルダがデバイスから削除されます。
3. 他のフォルダを削除するには、上記の手順を繰り返すか、下記の [すべて削除] ボタンを使用します。

## すべてのフォルダの削除

デバイスからすべてのフォルダを削除するには、以下の手順に従います。

1. [すべて削除] をクリックします。
2. [OK] をクリックして了承します。 すべてのフォルダが削除されます。

## 事前定義フォルダのテスト

デバイスが事前定義フォルダにアクセスできるかどうかをテストするには、以下の手順に従います。

1. [事前定義フォルダ] リストでフォルダを選択します。
2. [フォルダ アクセスのテスト] をクリックします。 フォルダのアクセスにデバイスのユーザーの認証情報を使用するように設定している場合、テストを完了するためには、ユーザーの認証情報が求められたときにそれを入力する必要があります。

   テストが完了すると、テスト結果を示す灰色のメッセージ ボックスがページ上部に表示されます。

# アドレス設定

**注記** LDAP プロトコルは、通常、企業の電子メール環境でのみ使用されます。 外部のインターネット サービス プロバイダを使用して電子メール サービスを利用している場合は、電子メールの **[アドレス帳]** 機能を使用することをお勧めします。

製品がスキャンした文書を送信できるようにするには、送信先アドレスを 1 つまたは複数指定する必要があります。 製品のアドレス設定機能により、ネットワークの LDAP サーバにアクセスして、この手順を単純化できます。

**[アドレス設定]** 画面は、製品が複製された LDAP アドレス帳からアドレスを取得するのではなく、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) データベースから直接アドレスを取得できるようになる機能を設定するのに使用します。 LDAP アドレス帳を直接使用することで、最新のアドレスが使用されることを保証できます。 LDAP サーバの設定が無効であったり、LDAP サーバを自動的に検出できない場合には、画面にメッセージが表示されます。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

**図 4-9 [アドレス設定]** 画面

**表 4-7** アドレス設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |

**表 4-7** アドレス設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 3 | デバイスから LDAP アドレス帳への直接アクセスを許可する | デバイスが LDAP アドレス帳に直接アクセスできるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。 |
| 4 | LDAP サーバのバインド方法 | **[匿名]**：LDAP サーバが、LDAP データベースにアクセスするのにユーザーの認証情報を要求しない場合は、このオプションを選択して LDAP サーバに接続します。 |
| | | **[シンプル]**：LDAP サーバが、LDAP データベースを使用するのにユーザーの認証情報を要求する場合は、このオプションを選択して LDAP サーバに接続します。<br>このオプションを選択した場合は、ユーザー名、パスワード、およびドメインを入力する必要があります。 パスワードは、暗号化されていない状態でネットワーク経由で送信されることに注意してください。 |
| | | **[シンプル (SSL 経由)]**：LDAP サーバが、LDAP データベースを使用するのにユーザーの認証情報を要求する場合は、このオプションを選択して LDAP サーバに接続します。 このオプションは Kerberos v2 をサポートしています。<br>このオプションを選択した場合は、ユーザー名、パスワード、およびドメインを入力する必要があります。<br>注記　このオプションは、一部の製品では使用できません。 |
| 5 | デバイスのユーザーの認証情報を使用 | この設定は、SMTP の [認証] が有効になっていて、各デバイス ユーザーが SMTP サーバのアカウントを持っている場合にのみ使用できます。 ほとんどの場合、**[公開認証情報を使用]** の方が適しています。 |
| 6 | 公開認証情報を使用 | この設定は、すべてのユーザーが使用する、デバイスの SMTP 認証用の 1 つの名前とパスワードを設定するのに使用します。<br>これらの公開認証情報は、LDAP に直接接続するのに使用します。 公開認証情報を入力した場合、これらの認証情報は、ユーザーがデバイスを使用したときにデバイスが LDAP ディレクトリにアクセスするのに使用されます。 |
| 7 | LDAP サーバ | データベースに一元管理されたアドレス帳が含まれている LDAP サーバのホスト名または TCP/IP アドレスを入力します。<br>注記　一部の製品は、TCP/IP アドレスだけを認識します。 そのような場合、ホスト名は相当する TCP/IP アドレスに変換されます。 |
| 8 | ポート | サーバが LDAP 要求を処理している TCP/IP ポート番号を入力します。 通常は、ポート 3268 です。 |
| 9 | サーバを検出 | 使用可能な LDAP サーバを検索するには、このボタンをクリックします。 |
| 10 | 設定の検出 | LDAP データベースを検索するときに、指定したサーバに最適な設定を製品に判断させるには、このボタンをクリックします。 |

**表 4-7** アドレス設定 (続き)

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 11 | 検索ルート | アドレスの検索を開始する LDAP ディレクトリ構造内のエントリの識別名 (DN) を入力します。 識別名は、カンマで区切られた「<属性>=<値>」で構成されます。 以下に例を示します。<br><br>ou=departmentname,o=companyname<br><br>ou=marketing,o=Hewlett Packard,c=US<br><br>o=hp.com<br><br>ou=engineering,cn=users,dc=hp,dc=com<br><br>注記　一部の LDAP サーバでは、検索ルートを空のままにしておくこともできます (この場合、ルート ノードを指定したとみなされます)。 |
| 12 | デバイス ユーザー情報の取得方法 | **[Exchange 5.5 のデフォルト]**　LDAP を実行している Microsoft Exchange 5.5 サーバに接続する場合は、このオプションを選択します。 LDAP 属性値が自動的に設定されます。 |
| | | **[アクティブ ディレクトリのデフォルト]**　LDAP を実行している Microsoft Exchange Server 2000 サーバに接続する場合は、このオプションを選択します。 LDAP 属性値が自動的に設定されます。 |
| | | **[カスタム]**　LDAP 属性値を手動で設定する必要がある場合は、このオプションを選択します。 |
| 13 | LDAP 属性と共に | アドレス帳内の人物を特定する LDAP データベース内の属性を入力します。 この属性の値は、ユーザーがある人物の電子メール アドレスを取得するために入力する名前と比較されます。 以下に使用可能な LDAP 属性をいくつか示します。<br><br>● uid: ユーザー ID<br>● cn: 共通名<br>● sn: 姓<br>● givenName: 名 |
| 14 | 次の属性を使用する電子メール アドレス | ユーザーの電子メール アドレスが含まれている LDAP 属性を入力します。 以下に使用可能な 2 つの LDAP 属性を示します。<br><br>● rfc822Mailbox<br>● mail |
| 15 | 詳細設定 | LDAP サーバの高度な機能を設定するための画面を表示するには、このボタンをクリックします。 詳細については、「アドレスの詳細設定」を参照してください。 |
| 16 | テスト | 指定した設定をテストするには、このボタンをクリックします。 |

## アドレスの詳細設定

以下の図と表に、**[アドレスの詳細設定]** 画面の使用方法を示します。

**図 4-10** **[アドレスの詳細設定] 画面**

**表 4-8** アドレスの詳細設定

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 高度な検索オプション | LDAP サーバの高度な検索設定を選択します。 以下の設定が可能です。<br>● **LDAP アドレスの最大数 -** 1 つの検索で返される、一致する電子メール アドレスの数を設定します。 小さい値を指定するほど、検索時間は短くなります。<br>● **検索時間の上限 -** デバイスが LDAP サーバからの応答を待機する時間を設定します。 LDAP サーバの使用率が高い環境またはネットワークが低速な環境の場合は、このタイムアウト値を増やしてください。<br>● **LDAP フィルタ条件 -** 電子メール アドレスをフィルタリングするオプションの LDAP フィルタを設定します。 |
| 4 | データベース内のエントリを検出 | LDAP 検索クエリーに、名前の一部で開始するエントリ、またはエントリ名の任意の部分に名前の一部が含まれているすべてのエントリを含めるかどうかを選択します。 |

# アドレス帳

**注記**　**[アドレス帳]** 画面は、HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 用の HP EWS、または HP LaserJet M3035mfp、HP LaserJet M4345mfp、および HP LaserJet M5035mfp 製品用の HP EWS の将来のリリースでは表示されません。 その代わりに、これらの製品には、**[電子メール アドレス帳]** および **[ファックス アドレス帳]** などのその他のアドレス帳画面が含まれています。 これらの機能の詳細については、「その他のアドレス帳画面」を参照してください。

**[アドレス帳]** 画面は、製品の内部アドレス帳にインポートする送信先アドレスの事前定義リスト (カンマ区切り形式 (.CSV) のファイル) を追加するのに使用します。 .CSV ファイルは、プレーンテキスト ファイル (UTF-8 エンコーディング) で、各行に 1 つの電子メール アドレス エントリが含まれています。 エントリは、表示される名前である別名と、それに続くカンマと電子メール アドレスで構成されています。 別名と電子メール アドレスにカンマを含めることはできません。 以下に例を示します。

name1, name1@your.company.com

name2, name2@your.company.com

製品で、ユーザーは別名を使用して送信先アドレスを検索します。

以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

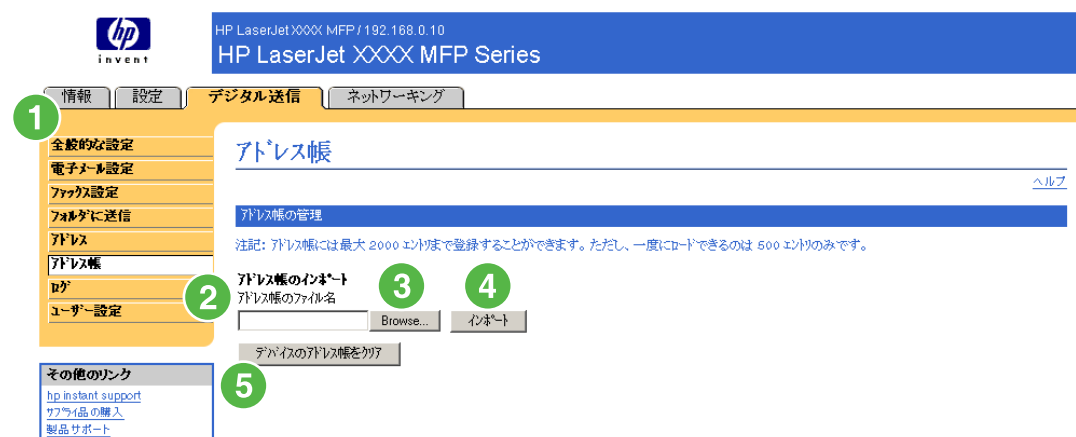



**図 4-11　[アドレス帳] 画面**

**表 4-9**　アドレス帳

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | アドレス帳のファイル名 | .CSV アドレス帳ファイルのパスを指定します。 |
| 3 | 参照 | .CSV アドレス帳ファイルを検索するには、このボタンをクリックします。 |
| 4 | インポート | アドレス帳を製品の内部アドレス帳にインポートするには、.CSV ファイルのパスが **[アドレス帳のファイル名]** フィールドに表示された後にこのボタンをクリックします。 この機能では、最大 2000 個の電子メール アドレスを格納できます。 |
| 5 | デバイスのアドレス帳をクリア | デバイスの内部アドレス帳の内容をクリアするには、このボタンをクリックします。 |

## その他のアドレス帳画面

**注記**　以下の画面は、HP LaserJet M3035mfp、HP LaserJet M4345mfp、および HP LaserJet M5035mfp 製品用の HP EWS の現在のリリースでは表示されません。 その代わりに、これらの製品で **[アドレス帳]** 画面が表示されます。 これらの機能の詳細については、「アドレス帳」を参照してください。

HP LaserJet M3027mfp および M5025mfp 製品 用の HP EWS の現在のリリースには、**[デジタル送信 ]** タブにいくつかのアドレス帳画面が含まれています。 HP LaserJet M3035mfp、HP LaserJet M4345mfp、および HP LaserJet M5035mfp 製品用の HP EWS の将来のリリースもこれらの画面を使用します。 使用可能な画面は以下のとおりです。

- **[電子メール アドレス帳]** - この画面は、製品の電子メール アドレス帳に電子メール アドレスを追加、編集、および削除するのに使用します。
- **[ファックス アドレス帳]** - この画面は、製品のファックス アドレス帳にファックス番号を追加、編集、および削除するのに使用します。
- **[インポート/エクスポート]** - この画面は、製品のファックスおよび電子メール用の内部アドレス帳にインポートする、送信先アドレスの事前定義リスト (カンマ区切り形式 (.CSV) のファイル) を追加するのに使用します。 また、この画面を使用して、同じ情報を別のデバイスやアーカイブにエクスポートできます。

# ログ

**[ログ]** 画面は、発生したエラーを含む、デジタル送信ジョブの情報を表示するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

注記　HP DSS がインストール済みの場合は、デジタル送信の使用状況ログは、HP EWS ではなく HP DSS に記録されます。 ログを表示するには、HP デジタル送信ソフトウェアの設定ユーティリティ を開いて、**[ログ]** タブをクリックします。 HP EWS には、コントロール パネルまたは HP EWS の画面で設定したアクティビティに関係するエントリだけが表示されます。

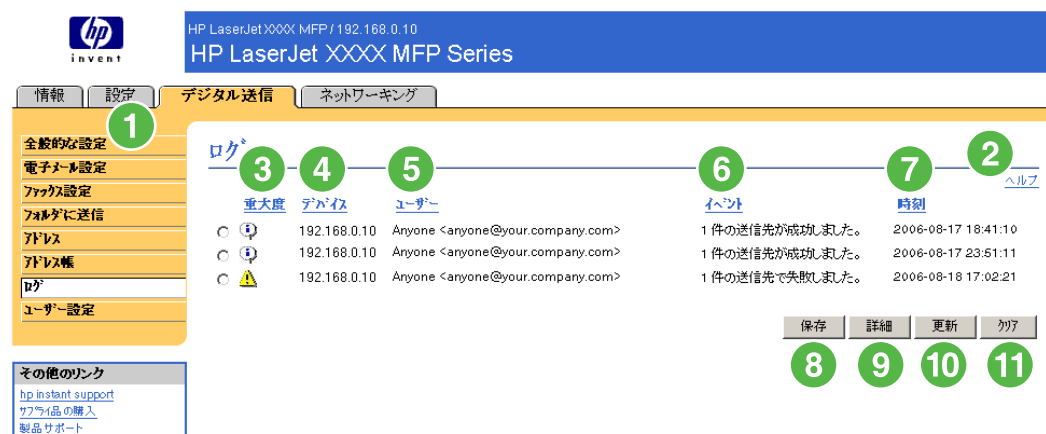



図 4-12 **[ログ]** 画面

表 4-10 ログ

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
| --- | --- | --- |
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 重大度 | 各ログ エントリのエラーの重要度が表示されます。 |
| 4 | デバイス | デバイスの TCP/IP アドレスが表示されます。 |
| 5 | ユーザー | イベントを開始したユーザーが表示されます。 |
| 6 | イベント | イベントが正常に完了したか、エラーが発生したかが示されます。 |
| 7 | 時刻 | 各ログ エントリの時間が表示されます。 |
| 8 | 保存 | ログ情報をファイルに保存するには、このボタンをクリックします。 |
| 9 | 詳細 | ログ エントリの詳細を表示するには、ログ エントリを選択して **[詳細]** ボタンをクリックします。 |
| 10 | 更新 | 最新のログ情報が含まれるように表示を更新するには、このボタンをクリックします。 |
| 11 | クリア | ログから情報をクリアするには、このボタンをクリックします。<br>注記　**[クリア]** ボタンをクリックすると、画面に表示されているログのみがクリアされます。 ログ エントリは製品に残ります（ジョブ課金情報のため）。 |

**[ログ]** 画面の **[詳細]** ボタンをクリックすると、**[詳細]** 画面が表示されます。 この画面には、ジョブ ID、ジョブが送信された時刻、送信者名、およびその他の詳細情報など、デジタル送信ジョブに関する情報が表示されます。

**図 4-13 [詳細] 画面**

正常に送信されなかったジョブでは、**[詳細]** 画面の下部に **[トラブルシューティング]** ボタンが表示されます。 **[トラブルシューティング]** をクリックすると、**[トラブルシューティング]** 画面が表示されます。 詳細情報の下に表示されている下線付きのリンク (以下の例の **[Internal E-mail Error]**) をクリックすると、トラブルの解決に役立つ画面が表示されます。

**図 4-14 [トラブルシューティング] 画面**

## ユーザー設定

**[ユーザー設定]** 画面は、デジタル送信機能の一般設定を指定するのに使用します。 以下の図と表に、この画面の使用方法を示します。

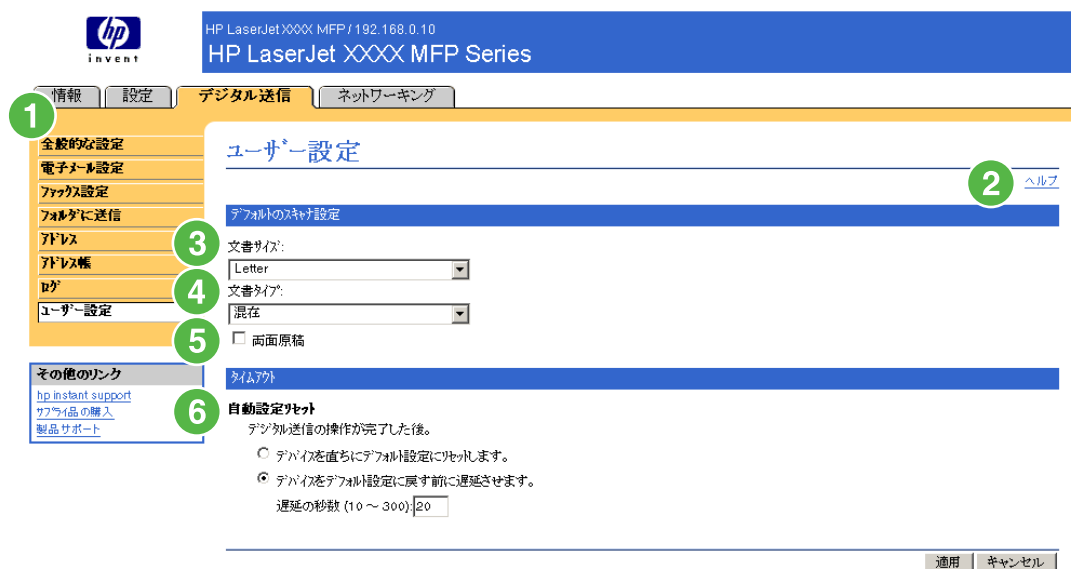



**図 4-15 [ユーザー設定] 画面**

**表 4-11 ユーザー設定**

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | ヘルプ | クリックすると、**[デジタル送信]** タブの画面に関する情報が含まれたヘルプ ファイルが開きます。 |
| 3 | 文書サイズ | 製品のスキャナが文書をスキャンするときに使用するデフォルトのメディア サイズを選択します。 |
| 4 | 文書タイプ | 製品のイメージ プロセッサが文書をスキャンするときに使用するデフォルトのメディア タイプを選択します。<br>● **[テキスト]**<br>● **[グラフィック]**<br>● **[混在]** |
| 5 | 両面原稿 | 文書の両面をスキャンする場合は、このチェック ボックスをオンにします。 |
| 6 | 自動設定リセット | ジョブに関連付けられているすべてのデジタル送信設定を、製品のデフォルト設定にリセットするには、タイムアウト オプションを使用します。 ユーザーが設定を変更したデジタル送信操作の完了直後、または完了してから 10 ～ 300 秒後に設定をリセットすることができます。 |

# Kerberos 認証

注記　**[Kerberos 認証]** 画面は、HP LaserJet M3035mfp、HP LaserJet M4345mfp、および HP LaserJet M5035mfp 製品用の HP EWS の将来のリリースに表示されます。

Kerberos はネットワーク認証プロトコルです。 セッション チケットとともに配信される秘密鍵を使用して、クライアント/サーバ アプリケーションにセキュリティ保護された認証を提供するように開発されています。

ここで説明している手順を実行する前に、以下の手順を実行する必要があります。

1. Microsoft LDP ツールをインストールします。
2. LDAP サーバを検出します。
3. LDP を設定します。

これらの手順を実行したら、次の「Kerberos 認証の初期化」の手順を実行します。

## Kerberos 認証の初期化

以下の手順に従って、製品の Kerberos 認証を初期化します。

注記　内蔵 Kerberos 認証は、認証プロセスでセッション チケットを使用します。 セッション チケットには、Kerberos Domain Controller (KDC) と製品の両方によってタイム スタンプが付けられます。 それぞれのタイム スタンプの違いは 5 分以内でなければなりません。 そのためには、KDC と製品の時刻を同じに設定します。

1. Web ブラウザで HP EWS を開きます。
2. **[設定]** タブを選択して、**[Kerberos 認証]** を選択します。
3. **[Kerberos 認証サーバーにアクセス中]** セクションで、以下の手順を実行します。
   a. **[Kerberos デフォルト領域 (ドメイン)]** フィールドにドメイン名を入力します。 ドメイン名では大文字と小文字が区別され、大文字のみを使用する必要があります。たとえば、TECHNICAL.MARKETING のように入力します。
   b. **[Kerberos サーバー ホスト名の入力]** フィールドに製品の IP アドレスを入力します。たとえば、 15.62.64.203 (IP アドレス) のように入力します。

   注記　**[Kerberos サーバー ポート]** フィールドは、自動的に **[88]** と入力されます。
4. **[LDAP サーバにアクセスしています]** セクションで、以下の手順を実行します。
   a. **[LDAP サーバのバインド方法]** ドロップダウン メニューから **[Kerberos]** を選択します。
   b. 使用する認証方法をクリックして選択します。

   **[公開認証情報を使用]** を選択した場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

   注記　LDP 画面でどのようにユーザー名を設定したかに注意してください。 ユーザー名は、LDP トレースのデバイス ユーザーの DN 値内に定義されていて、標準の Windows ドメイン アカウント フォーマットではありません。 フォーマットは通常、完全な電子メール アドレスで、@xx.xx も含まれます。

c. **[LDAP サーバ]** フィールドに LDAP サーバを入力します。

d. **[ポート]** フィールドに「389」と入力します。

5. **[LDAP データベースを検索中]** セクションで、以下の手順を実行します。

a. **[検索ルート]** フィールドに検索プレフィックスを貼り付けます。

b. **[LDAP 属性と共に]** フィールドに「sAMAccountName」と入力します。

c. LDP トレースでデバイス ユーザーの電子メール アドレスを検索します。 電子メール アドレスを定義している属性をコピーして、**[Retrieve the device user’s e-mail address using attribute of]** フィールドに貼り付けます。

一部の Kerberos 環境では、非常に特殊な属性を使用する必要があります。 ここでは、mail の代わりに userPrincipalName 属性を使用しています。

d. LDP トレースで、デバイス ユーザーの **[属性を使用する名前]** を探します。 名前を定義している属性をコピーして、それを **[および属性を使用する名前]** フィールドに貼り付けます。

**注記** Kerberos 環境では、displayName の代わりに cn を使用する必要があります。

e. **[適用]** をクリックします。

これらの手順が完了したら、次の「Kerberos 認証の認証マネージャの設定」の手順に進みます。

## Kerberos 認証の認証マネージャの設定

以下の手順に従って、製品の Kerberos 認証の設定を続けます。

1. HP EWS の **[設定]** タブの **[認証マネージャ]** をクリックします。

2. 以下の手順を実行します。

a. **[ホーム画面アクセス]** セクションで、**[スリープ復帰時にサインイン]** ドロップダウン メニューから **[Kerberos]** を選択します。

b. **[デバイスの機能]** セクションで、認証する機能のドロップダウン メニューから **[Kerberos]** を選択します。

c. オプション: **[今後のインストール対象]** セクションの [新規にインストールした機能] ドロップダウン メニューから **[Kerberos]** を選択します。 このオプションを選択することで、新しいデバイス機能が製品にインストールされたときに、それらに Kerberos 認証が自動的に適用されます。

3. **[適用]** をクリックします。

これらの手順が完了したら、次の「Kerberos 認証のアドレス設定」の手順に進みます。

## Kerberos 認証のアドレス設定

以下の手順に従って、製品の Kerberos 認証の設定を続けます。

1. HP EWS の **[デジタル送信]** タブの **[アドレス設定]** をクリックします。

2. **[デバイスから LDAP アドレス帳への直接アクセスを許可する]** チェック ボックスをクリックしてオンにします。

3. **[Accessing to LDAP Server]** セクションで、以下の手順を実行します。

   a. **[LDAP サーバのバインド方法]** ドロップダウン メニューから **[Kerberos]** を選択します。

   注記　Kerberos 認証が正しく機能するためには、**[アドレス設定]** 画面と **[Kerberos 認証]** 画面の [LDAP サーバのバインド方法] が一致している必要があります。

   b. **[認証情報]** で **[公開認証情報を使用]** オプションをクリックして選択します。

   - [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
   - [Kerberos デフォルト領域 (ドメイン)] を入力します。たとえば、TECHNICAL.MARKETING のように入力します。
   - [Kerberos サーバー ホスト名] を入力します。たとえば、 15.62.64.203 のように入力します。
   - [Kerberos サーバー ポート] を入力します。たとえば、 88 のように入力します。

   c. [LDAP サーバ] を入力します。たとえば、15.98.10.51 のように入力します。

   d. ポート番号を入力します。たとえば、 389 のように入力します。

4. **[データベースの検索]** セクションで、以下の手順を実行します。

   a. **[検索ルート]** フィールドに検索プレフィックスを入力します。

   b. **[デバイス ユーザー情報の取得方法]** ドロップダウン メニューの 3 つのオプションのいずれかを選択します。 適切なオプションはネットワーク環境によって異なります。

   - LDAP アドレス設定で Exchange 5.5 サーバを使用している場合は、**[Exchange 5.5 のデフォルト]** を選択します。
   - Windows 2000 以降のネットワーク環境の場合は、**[アクティブ ディレクトリのデフォルト]** を選択します。
   - 特殊なネットワーク環境の場合は、**[カスタム]** を選択します。

5. **適用** をクリックします。

これらの手順が完了したら、次の「MFP コントロール パネルを使用した Kerberos 認証の設定」の手順に進みます。

## MFP コントロール パネルを使用した Kerberos 認証の設定

以下の手順に従って、製品の Kerberos 認証の設定を完了します。

1. MFP で、コントロール パネルのメイン画面の任意のオプションをタッチします。 画面に認証の要求が表示されます。

   注記　ユーザー名は、LDP トレースのデバイス ユーザーの DN 値内に定義されていて、通常、@xx.xx を含む完全な電子メール アドレスです。

2. MFP コントロール パネルのタッチ スクリーン キーパッドを使用して認証を入力し、**[OK]** をクリックします。 電子メールなど、選択したオプションが表示されます。

# 5 ネットワーキング画面からのネットワーク操作の管理

# 概要

ネットワーキング画面は、ネットワーク上の製品を設定および管理するのに使用します。 **[ネットワーキング]** タブで使用可能な画面の外観と機能は、HP Jetdirect プリント サーバのモデルとバージョンによって異なります。 **[ネットワーキング]** をクリックすると、以下のような画面が表示されます。 左側のナビゲーションバーで、表示する画面の **[ネットワーキング]** メニューをクリックします。

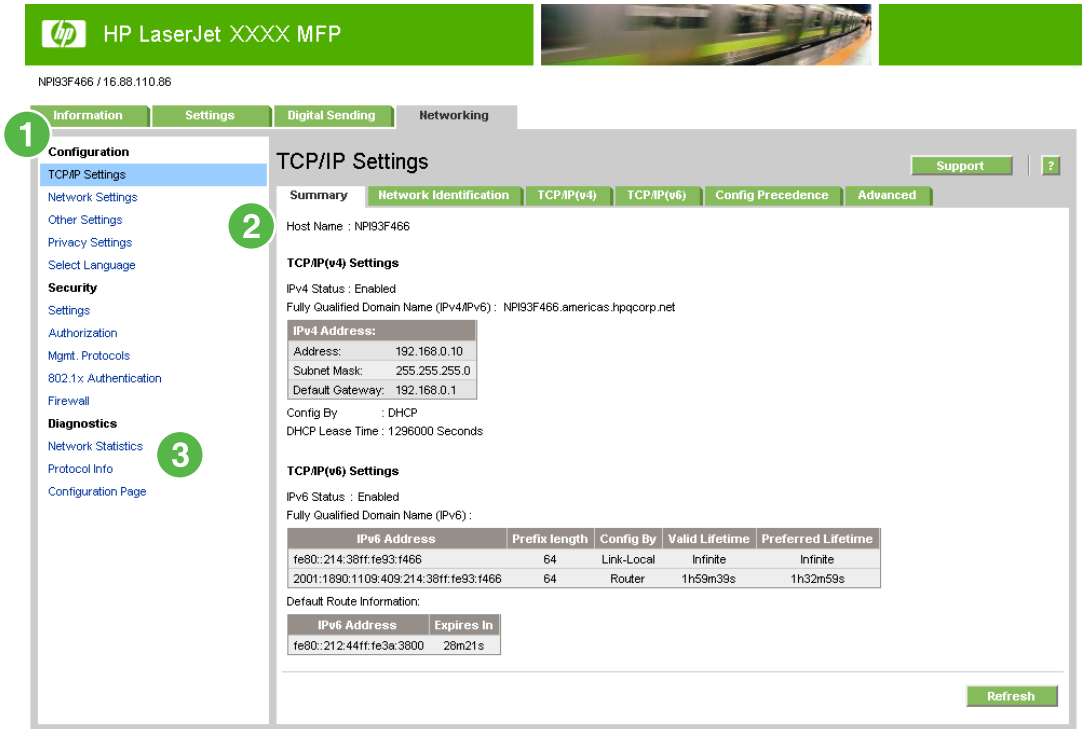



図 5-1 **[Network Settings]** 画面

表 5-1 Network Settings

| 番号 | 画面の領域 | 領域に表示される情報、または領域の機能 |
|---|---|---|
| 1 | HP EWS のタブとメニュー | 詳細については、「HP 内蔵 Web サーバ内の移動」を参照してください。 |
| 2 | 言語を選択 | **[ネットワーキング]** タブの言語を選択します。 **[ネットワーキング]** タブに表示される言語のリストは、**[設定]** タブに表示されるものとは異なります。 |
| 3 | ヘルプ | **[ネットワーキング]** タブのオプションの詳細情報を表示するには、**[ヘルプ]** をクリックします。 |

ネットワーキング画面で実行可能なタスクの一部を以下に示します。実行可能なタスクは、HP Jetdirect プリント サーバ モデルとオペレーティング バージョンによって異なります。

- 各種ネットワーク接続のネットワーク設定を変更する。
- 印刷プロトコルをオンまたはオフにする。
- サポート連絡先とサポート URL を設定する。

- 製品およびネットワーク設定へのアクセスを制御するパスワードを設定する。 このパスワードは、**[設定]** タブの **[セキュリティ]** 画面に設定したパスワードと同期されるため、いずれかの画面で設定したりリセットすることができます。
- パスワード、アクセス リスト、および管理プロトコルを使用して、製品のセキュリティを設定する。
- ネットワークのトラブルの解決または最適化のために、プリント サーバに保存されているネットワーク統計など、一般的なネットワーク ステータス情報を表示する。
- サポートされているすべてのネットワーク接続のプロトコル情報を表示する。
- HP Jetdirect の [設定] ページを開く。
- HP EWS がネットワーク ステータスをチェックする頻度を設定する。

ネットワーキング画面の詳細については、以下の情報も参照してください。

- **ヘルプ** - 各ネットワーキング画面の **[その他のリンク]** の **[ヘルプ]** リンクには、ネットワーキング機能の説明が表示されます。 また、[ヘルプ] 画面から、HP Web サイトに掲載されているヘルプにもアクセスすることができます。
- **[HP Jetdirect 管理者ガイド]** - 通常、このガイドは製品に付属のソフトウェア CD に収録されています。また、以下の Web サイトから利用可能な、各製品用の hp.com サポート ページからダウンロードすることもできます。
  - www.hp.com/support/LJM3027mfp
  - www.hp.com/support/LJM3035mfp
  - www.hp.com/support/LJM4345mfp
  - www.hp.com/support/LJM5025mfp
  - www.hp.com/support/LJM5035mfp

# 6 その他のリンクのリソースとしての使用

**[その他のリンク]** ボックスには、対話形式によるトラブル解決、HP 純正サプライ品の注文情報など、製品固有の情報にすばやくアクセスすることが可能な 3 つの固定リンクが含まれています。

**図 6-1 [デバイス情報] 画面**

**注記　[設定]** タブの **[その他のリンクの編集]** 画面を使用して、最大 5 つのカスタマイズ リンクを任意の Web サイトに追加できます。 これらのリンクは、すべての EWS 画面の左側のナビゲーション バーの下にある **[その他のリンク]** ボックスに表示されます。 詳細については、「その他のリンクの編集」を参照してください。

次のセクションで、**[その他のリンク]** ボックスにデフォルトで表示される各リンクについて説明します。

# hp Instant Support

Hewlett-Packard 社では、お客様の製品から診断情報を収集して、HP の情報データベースと照合するインターネットベースのサポートシステムである hp Instant Support を提供しています。 hp Instant Support では、問題をすばやく簡単に解決できるインテリジェントなソリューションを用意しています。

## hp Instant Support の動作

**[hp Instant Support]** をクリックすると、お客様の製品が収集され、Hewlett-Packard 社に安全に転送されます。 hp Instant Support Web サイトは、製品データを読み込んで、製品の現在のステータスを分析します。 Web サイトは、ブラウザ ウィンドウに表示され、わかりやすいテキストと図が含まれたカスタマイズされた Web ページを作成します。 また、hp Instant Support Web サイトは、各製品で使用可能な追加のサービスについても紹介しています。

分析のために製品データが Hewlett-Packard 社に送信される前に、送信されるすべての情報 (シリアル番号、エラー状態、および製品のステータス) を表示することができます。 Hewlett-Packard 社は、この情報を機密情報として取り扱います。

## hp Instant Support から取得する情報

hp Instant Support Web サイトでは、トラブルの解決およびメンテナンス用の以下のツールを提供しています。

- ファームウェアとソフトウェアのアップデート。
- イベント ログに記録されている最近のイベントのトラブル解決情報。 たとえば、イベント ログに記録されている最新のイベントが紙詰まりの場合、 hp Instant Support Web サイトがそのイベントを検出し、紙詰まりに関するトラブル解決情報を提供します。
- サポート パック。
- ユーザーズ ガイドやセットアップ ガイドなどの製品マニュアル。

# サプライ品の購入

**[サプライ品の購入]** リンクを使用すると、Web ページに接続して希望の小売店にサプライ品をオンラインで簡単に注文できます。 必要なサプライ品はあらかじめ選択されていますが、 個数の変更やサプライ品の追加選択ができます。 選択したサプライ品は買い物カゴに入り、精算が可能になって、選択した小売店にサプライ品が正しく注文されます。

## 製品サポート

**[製品サポート]** リンクでは、法人向けのサポート リソースの包括的なメニューが表示された Web ページに接続されます。 この Web ページから、以下のようなタスクを実行できます。

- 1 つのサイトで HP 製品 (コンピュータ、ワークステーション、サーバ、ストレージ デバイス、プリンタ、スキャナ、デジタル イメージング、およびモバイル デバイス) のリストを検索する。
- テクニカル サポートを得る。 問題を解決する。製品をセットアップ、インストール、および設定するための情報を検索する。製品を探索および使用する。製品をメンテナンスする。製品のソフトウェアとドライバをアップグレードおよび移行する。製品をリサイクルしたり製品を正しく廃棄する。
- FAQ、ユーザー マニュアル、機能と仕様、および製品の互換性情報などの自己解決リソースにアクセスする。
- ディスカッション グループ、電子メール サポート、および電話サポートを通じて HP とお客様の担当者が共同作業を行う。
- タスクベースのナビゲーションを使用して、対処するタスク領域を特定し、関連するトピックおよびツールをすばやく見つけ出す。

また、 最新トピック、購読センター、製品割引販売やその他のお知らせ、およびトレーニング/教育情報などの機能も備えています。

# [サービス プロバイダ] リンクと [サービスの連絡先] リンク

**[サービス プロバイダ]** リンクと **[サービスの連絡先]** リンクは、サービス プロバイダが **[設定]** タブの [その他のリンク] 画面で作成した場合のみ表示されます (通常、名前も変更されます)。 あらゆるユーザーがリンクをクリックして、サービス プロバイダおよびサービスの連絡先に関する情報を入手できます。 情報は 50 文字以内で指定でき、製品の永久記憶装置に保存されます。

# 索引

## と



## な



## に



## ね



## は



## ひ



## ふ



## へ



## ほ



## め



## も



## ゆ